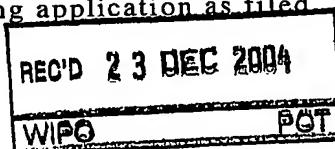


日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

04.11.2004

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.



出 願 年 月 日 2 0 0 3 年 1 1 月 4 日
Date of Application:

出 願 番 号 特 願 2 0 0 3 - 3 7 4 1 8 6
Application Number:
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 3 - 3 7 4 1 8 6]

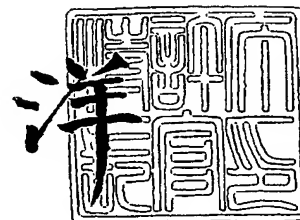
出 願 人 松下電器産業株式会社
Applicant(s):

PRIORITY DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH
RULE 17.1(a) OR (b)

2 0 0 4 年 1 2 月 9 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

小 川



【書類名】 特許願
【整理番号】 2931050059
【提出日】 平成15年11月 4日
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 H04L 12/56
【発明者】
 【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内
 【氏名】 船引 誠
【発明者】
 【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内
 【氏名】 池田 新吉
【特許出願人】
 【識別番号】 000005821
 【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社
【代理人】
 【識別番号】 100097445
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 岩橋 文雄
【選任した代理人】
 【識別番号】 100103355
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 坂口 智康
【選任した代理人】
 【識別番号】 100109667
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 内藤 浩樹
【手数料の表示】
 【予納台帳番号】 011305
 【納付金額】 21,000円
【提出物件の目録】
 【物件名】 特許請求の範囲 1
 【物件名】 明細書 1
 【物件名】 図面 1
 【物件名】 要約書 1
 【包括委任状番号】 9809938

【書類名】 特許請求の範囲**【請求項 1】**

移動通信装置が接続中の移動元アクセスルータ装置の高速モバイル IP 対応の可否を判定するステップと、

移動中の前記移動通信装置が移動先アクセスルータ装置からの信号を検出するステップと

、
前記移動通信装置が前記通信を検出したとき、移動元アクセスルータ装置が高速モバイル IP 対応でないと判定していれば、移動先アクセスルータ装置に関する情報を前記ホームエージェント装置に要求し、前記ホームエージェント装置はそれに応答して前記移動先アクセスルータ装置に関する情報を前記移動通信装置に提供し、前記移動通信装置が前記ホームエージェント装置に対して、前記移動通信装置宛データを前記移動先アクセスルータ装置へ転送するように指示するステップと

を有する移動通信方法。

【請求項 2】

前記ホームエージェント装置は、アクセスルータ装置に関する情報を記憶し、前記移動通信装置の要求に応じて前記移動先アクセスルータ装置に関する情報を探索して通知することを特徴とする請求項 1 に記載の移動通信方法。

【請求項 3】

前記ホームエージェント装置は、前記移動通信装置の要求に応じて、アクセスルータ装置に関する情報を記憶したアクセスルータ情報サーバ装置に、前記移動先アクセスルータ装置に関する情報を問い合わせ、前記移動通信装置へ通知することを特徴とする請求項 1 に記載の移動通信方法。

【請求項 4】

前記移動通信装置は、前記移動先アクセスルータ装置の識別子を前記ホームエージェント装置へ通知し、前記ホームエージェント装置が、前記識別子をもとに前記移動先アクセスルータ装置に関する情報の探索あるいは問い合わせを行うことを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれかに記載の移動通信方法。

【請求項 5】

前記移動先アクセスルータ装置の識別子は、下位レイヤアドレスおよび基地局 ID のいずれか一方であることを特徴とする請求項 4 に記載の移動通信方法。

【請求項 6】

前記ホームエージェント装置が、前記移動先アクセスルータ装置に関する情報を取得できなかった場合、その旨を前記移動通信装置に通知するステップをさらに有する請求項 1 から 4 のいずれかに記載の移動通信方法。

【請求項 7】

移動通信装置が接続中の移動元アクセスルータ装置の高速モバイル IP 対応の可否を判定するステップと、

移動中の前記移動通信装置が移動先アクセスルータ装置からの信号を検出するステップと

、
前記移動通信装置が前記通信を検出したとき、前記移動元アクセスルータ装置が高速モバイル IP 対応でないと判定していれば、前記移動通信装置が前記移動先アクセスルータ装置に関する情報を、アクセスルータ装置に関する情報を記憶したアクセスルータ情報サーバ装置から取得し、前記ホームエージェント装置に対して、前記移動通信装置宛データを前記移動先アクセスルータ装置へ転送するように指示するステップと

を有する移動通信方法。

【請求項 8】

前記移動通信装置が前記移動元アクセスルータ装置を高速モバイル IP 対応でなく、前記移動先アクセスルータ装置を高速モバイル IP 対応であると判定した場合、前記ホームエージェント装置に対して、前記移動通信装置宛データを前記移動先アクセスルータ装置へ転送することを指示するステップと、

前記ホームエージェント装置が、前記移動先アクセスルータ装置との間にトンネルを設定し、前記移動通信装置に通知するステップと、
前記移動先アクセスルータ装置が前記トンネル経由で受信した前記移動通信装置宛データを前記移動通信装置へ転送するステップと
を有することを特徴とする請求項 1 に記載の移動通信方法。

【請求項 9】

前記移動通信装置が前記移動元アクセスルータ装置を高速モバイル IP に対応しており、かつ前記移動先アクセスルータ装置を高速モバイル IP に対応していないと判定した場合は、前記移動元アクセスルータ装置に対して前記移動通信装置宛データを前記ホームエージェント装置へ転送することを指示するステップと、
前記移動元アクセスルータ装置が、前記ホームエージェント装置との間にトンネルを設定し、前記移動通信装置に通知するステップと、
前記ホームエージェント装置が前記トンネル経由で受信した前記移動通信装置宛データを前記移動通信装置へ転送するステップと
を有することを特徴とする請求項 8 に記載の移動通信方法。

【請求項 10】

前記移動通信装置が前記移動元アクセスルータ装置に行う前記指示は、高速モバイル IP 手順によるファストバインディングアップデートメッセージの新気付アドレスフィールドに前記ホームエージェント装置のアドレスを記載したものであることを特徴とする請求項 9 に記載の移動通信方法。

【請求項 11】

前記ホームエージェント装置が、前記移動元アクセスルータ装置から前記移動通信装置宛の送信データのバッファリングの指示を受信し、前記バッファリングが可能である場合、前記バッファリングを開始するステップ
をさらに有することを特徴とする請求項 9 と 10 のいずれかに記載の移動通信方法。

【請求項 12】

前記ホームエージェント装置が、前記バッファリングを開始したことを前記移動元アクセスルータ装置に通知するステップをさらに有する請求項 11 に記載の移動通信方法。

【請求項 13】

前記ホームエージェント装置は、前記バッファリングが不可能である場合、前記バッファリングができないことを前記移動元アクセスルータ装置に通知することを特徴とする請求項 12 に記載の移動通信方法。

【請求項 14】

複数のサブネットワークから構成されるネットワークと、サブネットワークに接続するアクセスルータ装置と、前記アクセスルータ装置を介して前記ネットワークとのパケット通信を行う移動通信装置と、前記移動通信装置のサブネットワーク単位の移動管理を実施する前記ネットワークに接続するホームエージェント装置と、前記移動通信装置と通信を行う前記ネットワークに接続する 1 つ以上の通信相手端末とを有し、前記アクセスルータ装置は高速モバイル IP に対応するものと対応しないものとが混在し、前記移動通信装置が異なるサブネットワークに移動した後、前記ホームエージェント装置に位置登録を行い、前記通信相手端末との通信を継続する移動通信システムであって、
前記移動通信装置はアクセスルータ装置が高速モバイル IP 対応可能か否かを判定する機能を備え、移動元アクセスルータ装置が高速モバイル IP 対応であると判定した場合、移動先アクセスルータ装置に関する情報を前記移動元アクセスルータ装置から取得して高速モバイル IP 手順を実施し、前記移動元アクセスルータ装置が高速モバイル IP 対応でないと判定した場合、前記移動先アクセスルータ装置に関する情報を前記ホームエージェント装置に要求し、
前記ホームエージェント装置は前記要求に応答して前記移動先アクセスルータ装置に関する情報を前記移動通信装置に提供し、
前記移動通信装置は前記ホームエージェント装置に対して、前記移動通信装置宛データを

前記移動先アクセスルータ装置へ転送するように指示することを特徴とする移動通信システム。

【請求項 15】

複数のサブネットワークから構成されるネットワークと、サブネットワークに接続するアクセスルータ装置と、前記アクセスルータ装置を介して前記ネットワークとのパケット通信を行う移動通信装置と、前記移動通信装置のサブネットワーク単位の移動管理を実施する前記ネットワークに接続するホームエージェント装置と、前記移動通信装置と通信を行う前記ネットワークに接続する 1 つ以上の通信相手端末と、前記アクセスルータ装置に関する情報を記憶したアクセスルータ情報サーバ装置とを有し、前記アクセスルータ装置は高速モバイル IP に対応するものと対応しないものとが混在し、前記移動通信装置が異なるサブネットワークに移動した後、前記ホームエージェント装置に位置登録を行い、前記通信相手端末との通信を継続する移動通信システムであって、

前記移動通信装置はアクセスルータ装置が高速モバイル IP 対応可能か否かを判定する機能を備え、移動元アクセスルータ装置が高速モバイル IP 対応であれば、移動元アクセスルータ装置から移動先アクセスルータ装置に関する情報を取得して高速モバイル IP 手順を実施し、前記移動元アクセスルータ装置が高速モバイル IP 対応でなければ、前記移動通信装置が前記移動先アクセスルータ装置に関する情報を前記アクセスルータ情報サーバ装置から取得し、前記ホームエージェント装置に対して、当該移動通信装置宛データを前記移動先アクセスルータ装置へ転送するように指示することを特徴とする移動通信システム。

【請求項 16】

標準的なモバイル IP 処理および高速モバイル IP 処理を実施するモバイル IP・高速モバイル IP 処理部と、

前記モバイル IP・高速モバイル IP 処理部からアクセスルータ装置に関する情報を取得するアクセスルータ探索部と、

前記アクセスルータ探索部で取得した情報をもとにアクセスルータ装置が高速モバイル IP に対応しているかを判別する高速モバイル IP 対応判別部と、

前記高速モバイル IP 対応判別部の結果に応じて、モバイル IP・高速モバイル IP 処理部が生成するメッセージの内容を制御する高速モバイル IP 制御部と

を具備することを特徴とする移動通信装置。

【請求項 17】

前記アクセスルータ装置に関する情報は、当該移動通信装置のサブネットワーク間の移動を管理するホームエージェント装置あるいはアクセスルータ装置から取得したことを特徴とする請求項 16 に記載の移動通信装置。

【請求項 18】

前記高速モバイル IP 対応判別部が移動元アクセスルータ装置を高速モバイル IP 対応でないと判定した場合、前記高速モバイル IP 制御部がホームエージェント装置あるいはアクセスルータ情報サーバ装置に対して移動先アクセスルータ装置の識別情報を通知し、前記移動先アクセスルータ装置に関する情報を要求するようにモバイル IP・高速モバイル IP 処理部を制御することを特徴とする請求項 16 または 17 に記載の移動通信装置。

【請求項 19】

前記高速モバイル IP 対応判別部が前記ホームエージェント装置から通知された前記移動先アクセスルータ装置に関する情報に基づいて、前記移動先アクセスルータ装置が高速モバイル IP 対応であると判定した場合、高速モバイル IP 制御部が前記ホームエージェント装置に対して当該移動通信装置宛データを前記移動先アクセスルータ装置へ転送するように前記モバイル IP・高速モバイル IP 処理部を制御することを特徴とする請求項 16 乃至 18 のいずれかに記載の移動通信装置。

【請求項 20】

前記高速モバイル IP 対応判別部は、移動元アクセスルータ装置が高速モバイル IP に対応しており、かつ移動先アクセスルータ装置が高速モバイル IP に対応していないと判定

した場合、前記高速モバイル IP 制御部が、前記移動元アクセスルータ装置に対して当該移動通信装置宛データをホームエージェント装置へ転送するように前記モバイル IP・高速モバイル IP 処理部を制御することを特徴とする請求項 16 乃至 18 のいずれかに記載の移動通信装置。

【請求項 21】

前記モバイル IP・高速モバイル IP 処理部は、前記移動元アクセスルータ装置へ、高速モバイル IP 手順によるファストバインディングアップデートメッセージの新気付アドレスフィールドにホームエージェント装置のアドレスを記載したメッセージを送信することを特徴とする請求項 16 に記載の移動通信装置。

【請求項 22】

標準的なモバイル IP 処理および高速モバイル IP 処理を実施するモバイル IP・高速モバイル IP 処理部と、
管理対象である移動通信装置宛のデータを一時的に蓄積するバッファメモリと、
前記モバイル IP・高速モバイル IP 処理部が受信した前記移動通信装置への送信データの蓄積、あるいは蓄積されたデータの送付の要求を受け、前記バッファメモリに対する入出力を管理するバッファ管理部と、
を具備するホームエージェント装置。

【請求項 23】

前記バッファ管理部は、移動元アクセスルータ装置からバッファリングの開始を要求するメッセージを受信したときにデータのバッファリングを開始し、移動先アクセスルータ装置からバッファリングされたデータの送信開始を要求するメッセージを受信したときにバッファリングされたデータを宛先の移動通信装置に送信する請求項 22 に記載のホームエージェント装置。

【請求項 24】

移動先アクセスルータ装置に関する情報の問い合わせに応じて、アクセスルータ装置に関する情報を記憶したアクセスルータ情報サーバ装置に対して前記移動先アクセスルータ装置に関する情報を要求し、取得した前記情報を要求元に通知する移動先アクセスルータ探索部をさらに有することを特徴とする請求項 22 または 23 に記載のホームエージェント装置。

【請求項 25】

前記移動先アクセスルータ探索部は、前記移動通信装置から要求を受ける際に取得した前記移動先アクセスルータ装置の識別子をもとに、前記アクセスルータ情報サーバ装置に対して要求することを特徴とする請求項 24 に記載のホームエージェント装置。

【請求項 26】

アクセスルータ装置の識別子と、当該アクセスルータ装置の IP アドレスと、当該アクセスルータ装置の高速モバイル IP 対応の可否とを記録したアクセスルータ情報リスト、及び受信した、アクセスルータ装置に関する情報を要求するメッセージに含まれる識別子をもとに、該当するエントリを検索するアクセスルータ情報検索部をさらに具備し、
前記移動先アクセスルータ探索部が、要求に応じて、前記アクセスルータ情報検索部に対して前記移動先アクセスルータ装置に関する情報の検索を指示することを特徴とする請求項 24 または 25 に記載のホームエージェント装置。

【請求項 27】

前記アクセスルータ装置の識別子は、下位レイヤアドレス及び基地局 ID の少なくともいずれか一方であることを特徴とする請求項 25 または 26 に記載のホームエージェント装置。

【請求項 28】

アクセスルータ装置の識別子と、当該アクセスルータ装置の IP アドレスと、当該アクセスルータ装置の高速モバイル IP 対応の可否とを記録したアクセスルータ情報リストと、ネットワーク上の各種装置からアクセスルータ装置に関する情報の要求を受信する受信部と、

受信した前記要求に含まれる識別子をもとに、前記アクセスルータ情報リストから該当するエントリを検索するアクセスルータ情報検索部と、
前記検索結果を前記要求の送信元に通知するアクセスルータ情報通知部と
を具備するアクセスルータ情報サーバ装置。

【請求項 2 9】

前記アクセスルータ装置の識別子は、下位レイヤアドレスおよび基地局 I D のいずれかであることを特徴とする請求項 2 8 に記載のアクセスルータ情報サーバ装置。

【書類名】 明細書

【発明の名称】 移動通信方法、移動通信装置、ホームエージェント装置、アクセスルータ情報サーバ装置、および移動通信システム

【技術分野】**【0001】**

本発明はモバイルIPを用いた移動通信方法、移動通信装置、ホームエージェント装置、アクセスルータ情報サーバ装置、および移動通信システムに関する。

【背景技術】**【0002】**

モバイルIPを用いた移動通信システムは、サブネットワークを移動しながら通信を行う移動通信装置、移動通信装置の位置管理を行うホームエージェント装置、移動通信装置と通信を行うインターネットに接続されている通信相手端末、移動通信装置がインターネットに接続されている通信相手端末と通信を行うために接続するアクセスルータ装置とから構成される。この構成において、従来のモバイルIPを用いた移動通信方法として、非特許文献1に記載されたようなものがある。

【0003】

まず、移動通信装置がインターネット移動通信装置は異なるサブネットワークに移動したとき、移動先のサブネットワークに属するアクセスルータ装置からルータ広告メッセージを受信し、メッセージ内に含まれるプレフィクス情報からそのサブネットで一時的に使用する気付アドレスを生成する。その後、移動通信装置はホームエージェント装置に、ホームアドレスと新しく生成した気付アドレスを含んだバインディングアップデート（以下、バインディングアップデートという）メッセージを送信する。ホームエージェント装置はバインディングアップデートメッセージを受信し、ホームアドレスとそれに対応する気付アドレスの組を記憶したバインディングキャッシュに受信バインディングアップデートメッセージ内に含まれるホームアドレスと気付アドレスの組を追加する。その後、移動通信装置のホームアドレス宛に送信されたパケットはホームエージェント装置によりインターセプトされ、移動通信装置の現在の気付アドレス宛に転送される。

【0004】

以上の従来の移動体通信方法では、移動通信装置が異なるサブネットワークに移動してから、移動先で取得した気付アドレスをホームエージェント装置に登録するまでの時間に移動通信装置のホームアドレス宛に届いたパケットは、ホームエージェント装置から移動通信装置の以前の気付アドレス宛へ転送されるため、パケットロスが生じる。

【0005】

このパケットロスを削減するための方法として、非特許文献2に記載されたような、アクセスルータ装置間でパケットを転送、およびバッファリングする方法（以下、「高速モバイルIP」という。）がある。図34はこの高速モバイルIPの動作を示すシーケンス図である。

【0006】

この高速モバイルIP手順では、移動通信装置が新しいアクセスルータ装置を検出したとき（ステップS3401）、移動元アクセスルータ装置に移動先アクセスルータ装置の下位レイヤアドレスを含むメッセージを送信し（ステップS3402）、移動先アクセスルータ装置のIPアドレスを取得する（ステップS3403）。移動通信装置は、IPアドレスを取得後、移動元アクセスルータ装置に移動通信装置の気付アドレス宛に送信されたパケットを移動先アクセスルータ装置に転送することを要求するメッセージを送信する（ステップS3404）。その後、移動元アクセスルータ装置は移動先アクセスルータ装置との間にトンネルを確立し、移動先アクセスルータ装置でパケットを一時バッファリングしておくように指示する（ステップS3405、S3406）。その後、移動元アクセスルータ装置は移動通信装置にトンネルの確立が完了したことを示す確認メッセージを送信する（ステップS3407）。移動通信装置は、確認メッセージを受信した後、下位レイヤにおけるハンドオーバー処理を行う（ステップS3409）。移動通信装置は、下位レイ

イヤにおけるハンドオーバーが終了した後、バッファリングされたパケットの転送開始を指示するメッセージを移動先アクセスルータ装置に対して送信する（ステップS3410）。移動先アクセスルータ装置はメッセージを受信すると、バッファリングしていたパケットを移動通信装置に送信する（ステップS3414）。また、移動通信装置は、移動先アクセスルータ装置から送信されたルータ広告メッセージ（ステップS3411）から新しいサブネットプレフィクスを取得し、新たに気付アドレスを生成し（ステップS3421）、ホームエージェント装置や通信相手端末のバインディングキャッシュを更新するなどを行う（ステップS3412、ステップS3413、ステップS3415）。これらの処理は非特許文献1に記載された標準的なモバイルIP処理（以下、「標準的なモバイルIP」という。）である。

【0007】

また、移動元と移動先のアクセスルータ装置が、上記の高速モバイルIPに対応していない場合にパケットロスが生じない方法として、特許文献1に記載されたようなものがある。

【0008】

この移動通信方法では、移動通信装置が通信不能期間となることが明らかとなった時点で、ホームエージェント装置に対して通信不能期間開始電文を送信し、通信不能期間開始電文を受信したホームエージェント装置はそれ以降代理受信する移動通信装置宛のデータパケットを蓄積する。移動通信装置は通信不能期間が終了した時点で、通信不能期間終了電文をホームエージェント装置へ送信し、これを受信したホームエージェント装置は先に蓄積した移動通信装置宛のデータパケットを転送する。そして、移動通信装置はホームエージェント装置から転送されたデータパケットを受信処理する。

【0009】

さらにまた、モバイルIPにおいて、パケットロスを削減する従来の移動通信方式として、特許文献2に記載されたようなものがある。これはホームエージェント装置、もしくはホームエージェント装置とアクセスルータ装置間に設置されたゲートウェイ装置が移動通信装置宛のパケットをバッファリング、もしくはバイキャストする方法がある。この方法では、移動通信装置はホームエージェント装置もしくはゲートウェイ装置に対して、移動先外部エージェント装置と移動元外部エージェント装置の2重登録を行うための登録メッセージを送信する。この2重登録により、ホームエージェント装置は移動先外部エージェント装置と移動元外部エージェント装置に対して同一パケットを送信する（バイキャスト）。そして、この登録メッセージを受信後、ホームエージェント装置は受信パケットのリアルタイム性を判断し、リアルタイムトラフィックであれば、移動元外部エージェント装置と移動先外部エージェント装置にバイキャストを行い、そうでなければ、バッファリングを行う。

【特許文献1】特開2003-209890号公報（第6-9頁、図7）

【特許文献2】特開2002-125254号公報（第6-12頁、図1）

【非特許文献1】「Mobility Support in IPv6」IETF Mobile IP WGインターネットドラフト<URL: HYPERLINK <http://www.ietf.org/internet-drafts/draft-ietf-mobileip-ipv6-24.txt> <http://www.watersprings.org/pub/id/draft-ietf-mobileip-ipv6-24.txt>>

【非特許文献2】「Fast Handovers for Mobile IPv6」IETF Mobile IP WGインターネットドラフト<URL: HYPERLINK <http://www.watersprings.org/pub/id/draft-ietf-mobileip-fast-mipv6-08.txt> <http://www.watersprings.org/pub/id/draft-ietf-mobileip-fast-mipv6-08.txt>>

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0010】

しかしながら、非特許文献2に記載されている従来の移動通信方法では、移動元アクセスルータ装置と移動先アクセスルータ装置の間でメッセージの交換を行い、トンネル確立

を行わなければならないため、両方のアクセスルータ装置が高速モバイルIPに対応している必要がある。すなわち、高速モバイルIPに対応していないアクセスルータ装置へトンネル確立の指示をしても、それは無視されパケットが失われてしまう。

【0011】

一方、特許文献1に記載されている従来の移動通信方法では、移動元と移動先のアクセスルータ装置が共に高速モバイルIPに対応していてもトンネルが確立されず、効率の良い転送が行われてしまう。

【0012】

実際のネットワークにおいては、すべてのアクセスルータ装置が高速モバイルIPに対応しているとは限らないため、高速モバイルIPを適用することができないという課題を有していた。

【0013】

さらに、特許文献2の構成では、ホームエージェント装置でバッファリングやバイキャストなどの処理を頻繁に行う必要があるため、ホームエージェント装置の負荷が高くなるという課題を有していた。

【0014】

本発明は、前記従来の課題を解決するもので、アクセスルータ装置が高速モバイルIPに対応していない場合においても、ホームエージェント装置の負荷を極端に増大させることなく高速モバイルIPを適用することを可能とした移動通信方法を提供することを目的とする。

【0015】

特に移動通信装置がハンドオーバーの開始を決定する形態の高速モバイルIP手順に対し有効な移動通信方法および移動通信システムを提供するものである。

【課題を解決するための手段】

【0016】

上記従来の課題を解決するために、本発明の移動通信方法は、移動通信装置が接続中の移動元アクセスルータ装置の高速モバイルIP対応の可否を判定するステップと、移動中の前記移動通信装置が移動先アクセスルータ装置からの信号を検出するステップと、移動通信装置が通信を検出したとき、移動元アクセスルータ装置が高速モバイルIP対応でないと判定していれば、移動先アクセスルータ装置に関する情報をホームエージェント装置に要求し、ホームエージェント装置はそれに応答して移動先アクセスルータ装置に関する情報を移動通信装置に提供し、移動通信装置がホームエージェント装置に対して、移動通信装置宛データを移動先アクセスルータ装置へ転送するように指示するステップとを有する。これにより、移動通信装置は移動元アクセスルータ装置が高速モバイルIP対応でない場合でも高速モバイルIP手順を実施することができ、パケットロスを削減することができる。

【0017】

また、本発明の移動通信方法において、ホームエージェント装置は、アクセスルータ装置に関する情報を記憶し、移動通信装置の要求に応じて移動先アクセスルータ装置に関する情報を探索して通知する。これにより、移動通信装置はホームエージェント装置から移動先アクセスルータに関する情報を取得することができる。

【0018】

また、本発明の移動通信方法において、ホームエージェント装置は、移動通信装置の要求に応じて、アクセスルータ装置に関する情報を記憶したアクセスルータ情報サーバ装置に、移動先アクセスルータ装置に関する情報を問い合わせ、移動通信装置へ通知する。これにより、ホームエージェント装置がアクセスルータに関する情報を記憶する必要がなくなる。

【0019】

また、本発明の移動通信方法において、前記移動通信装置は、移動通信装置は、移動先アクセスルータ装置の識別子を前記ホームエージェント装置へ通知し、ホームエージェン

ト装置が、識別子をもとに移動先アクセスルータ装置に関する情報の探索あるいは問い合わせを行う。これにより、ホームエージェント装置は移動先アクセスルータに関する情報の探索を効率よく行うことができる。

【0020】

また、本発明の移動通信方法において、移動先アクセスルータの識別子は、下位レイヤアドレスおよび基地局IDのいずれか一方である。これにより、移動先アクセスルータを一意に識別することができる。

【0021】

また、本発明の移動通信方法において、前記ホームエージェント装置が移動先アクセスルータ装置に関する情報を取得できなかった場合、その旨を移動通信装置に通知するステップをさらに有する。これにより、移動通信装置は移動先アクセスルータに関する情報を取得できなかったことを知ることができる。

【0022】

また、本発明の移動通信方法は、移動通信装置が接続中の移動元アクセスルータ装置の高速モバイルIP対応の可否を判定するステップと、移動中の移動通信装置が移動先アクセスルータ装置からの信号を検出するステップと、移動通信装置が通信を検出したとき、移動元アクセスルータ装置が高速モバイルIP対応でないと判定していれば、移動通信装置が移動先アクセスルータに関する情報を、アクセスルータ装置に関する情報を記憶したアクセスルータ情報サーバ装置から取得し、ホームエージェント装置に対して、移動通信装置宛データを移動先アクセスルータへ転送するように指示するステップとを有する。これにより、移動通信装置は移動元アクセスルータが高速モバイルIP対応でない場合でも、パケットロスを削減することができる。

【0023】

また、本発明の移動通信方法は、移動通信装置が移動元アクセスルータ装置を高速モバイルIP対応でなく、移動先アクセスルータ装置を高速モバイルIP対応であると判定した場合、ホームエージェント装置に対して、移動通信装置宛データを移動先アクセスルータ装置へ転送することを指示するステップと、ホームエージェント装置が、移動先アクセスルータ装置との間にトンネルを設定し、移動通信装置に通知するステップと、移動先アクセスルータ装置がトンネル経由で受信した移動通信装置宛データを移動通信装置へ転送するステップとを有する。これにより、移動通信装置は移動元アクセスルータが高速モバイルIP対応でない場合でも、パケットロスを削減することができる。

【0024】

また、本発明の移動通信方法は、移動通信装置が移動元アクセスルータ装置を高速モバイルIPに対応しており、かつ移動先アクセスルータ装置を高速モバイルIPに対応していないと判定した場合は、移動元アクセスルータ装置に対して移動通信装置宛データをホームエージェント装置へ転送することを指示するステップと、移動元アクセスルータ装置が、ホームエージェント装置との間にトンネルを設定し、移動通信装置に通知するステップと、ホームエージェント装置がトンネル経由で受信した移動通信装置宛データを移動通信装置へ転送するステップとを有する。これにより、移動通信装置は移動先アクセスルータが高速モバイルIP対応でない場合でも、パケットロスを削減することができる。

【0025】

また、本発明の移動通信方法において、移動通信装置が移動元アクセスルータ装置に行う指示は、高速モバイルIP手順によるファストバインディングアップデートメッセージの新気付アドレスフィールドにホームエージェント装置のアドレスを記載したものである。これにより、新たにパケットフォーマットを定義する必要がなくなる。

【0026】

また、本発明の移動通信方法において、前記ホームエージェント装置が、移動元アクセスルータ装置から移動通信装置宛の送信データのバッファリングの指示を受信し、バッファリングが可能である場合、バッファリングを開始するステップをさらに有する。これにより、移動通信装置宛のパケットのロスを防ぐことができる。

【0027】

また、本発明の移動通信方法において、ホームエージェント装置が、バッファリングを開始したことを移動元アクセスルータ装置に通知するステップをさらに有する。これにより、移動元アクセスルータはバッファリングが開始されたことを知ることができる。

【0028】

また、本発明の移動通信方法において、ホームエージェント装置は、バッファリングが不可能である場合、バッファリングができないことを移動元アクセスルータ装置に通知する。これにより、移動元アクセスルータはホームエージェント装置においてバッファリングができないことを知ることができる。

【0029】

また、本発明の移動通信システムは、複数のサブネットワークから構成されるネットワークと、サブネットワークに接続するアクセスルータ装置と、アクセスルータ装置を介してネットワークとのパケット通信を行う移動通信装置と、移動通信装置のサブネットワーク単位の移動管理を実施するネットワークに接続するホームエージェント装置と、移動通信装置と通信を行うネットワークに接続する1つ以上の通信相手端末とを有し、アクセスルータ装置は高速モバイルIPに対応するものと対応しないものとが混在し、移動通信装置が異なるサブネットワークに移動した後、ホームエージェント装置に位置登録を行い、通信相手端末との通信を継続する移動通信システムであって、移動通信装置はアクセスルータ装置が高速モバイルIP対応可能か否かを判定する機能を備え、移動元アクセスルータ装置が高速モバイルIP対応であると判定した場合、移動先アクセスルータ装置に関する情報を移動元アクセスルータ装置から取得して高速モバイルIP手順を実施し、移動元アクセスルータ装置が高速モバイルIP対応でないと判定した場合、移動先アクセスルータ装置に関する情報をホームエージェント装置に要求し、ホームエージェント装置は要求に応答して移動先アクセスルータ装置に関する情報を移動通信装置に提供し、移動通信装置はホームエージェント装置に対して、移動通信装置宛データを移動先アクセスルータ装置へ転送するように指示する。これにより、移動通信装置は移動元アクセスルータが高速モバイルIP対応でない場合でも、パケットロスを削減することができる。

【0030】

また、本発明の移動通信システムは、複数のサブネットワークから構成されるネットワークと、サブネットワークに接続するアクセスルータ装置と、アクセスルータ装置を介してネットワークとのパケット通信を行う移動通信装置と、移動通信装置のサブネットワーク単位の移動管理を実施するネットワークに接続するホームエージェント装置と、移動通信装置と通信を行うネットワークに接続する1つ以上の通信相手端末と、アクセスルータ装置に関する情報を記憶したアクセスルータ情報サーバ装置とを有し、アクセスルータ装置は高速モバイルIPに対応するものと対応しないものとが混在し、移動通信装置が異なるサブネットワークに移動した後、ホームエージェント装置に位置登録を行い、通信相手端末との通信を継続する移動通信システムであって、移動通信装置はアクセスルータ装置が高速モバイルIP対応可能か否かを判定する機能を備え、移動元アクセスルータ装置が高速モバイルIP対応であれば、移動元アクセスルータ装置から移動先アクセスルータ装置に関する情報を取得して高速モバイルIP手順を実施し、移動元アクセスルータ装置が高速モバイルIP対応でなければ、移動通信装置が移動先アクセスルータ装置に関する情報をアクセスルータ情報サーバ装置から取得し、ホームエージェント装置に対して、移動通信装置宛データを移動先アクセスルータ装置へ転送するように指示する。これにより、移動通信装置は移動元アクセスルータが高速モバイルIP対応でない場合でも、パケットロスを削減することができる。

【0031】

本発明の移動通信装置は、標準的なモバイルIP処理および高速モバイルIP処理を実施するモバイルIP・高速モバイルIP処理部と、モバイルIP・高速モバイルIP処理部からアクセスルータ装置に関する情報を取得するアクセスルータ探索部と、アクセスルータ探索部で取得した情報をもとにアクセスルータ装置が高速モバイルIPに対応してい

るかを判別する高速モバイルIP対応判別部と、高速モバイルIP対応判別部の結果に応じて、モバイルIP・高速モバイルIP処理部が生成するメッセージの内容を制御する高速モバイルIP制御部とを具備する。これにより、移動通信装置は移動先アクセルルータが高速モバイルIP対応でない場合でも、パケットロスを削減することができる。

【0032】

また、本発明の移動通信装置のアクセルルータ装置に関する情報は、当該移動通信装置のサブネットワーク間の移動を管理するホームエージェント装置あるいはアクセルルータ装置から取得する。これにより、移動通信装置は移動先アクセルルータが高速モバイルIP対応かの判別を容易にできる。

【0033】

また、本発明の移動通信装置の高速モバイルIP対応判別部が、移動元アクセルルータ装置を高速モバイルIP対応でないと判定した場合、高速モバイルIP制御部がホームエージェント装置あるいはアクセルルータ情報サーバ装置に対して移動先アクセルルータ装置の識別情報を通知し、移動先アクセルルータ装置に関する情報を要求するようにモバイルIP・高速モバイルIP処理部を制御する。

【0034】

また、本発明の移動通信装置の高速モバイルIP対応判別部がホームエージェント装置から通知された移動先アクセルルータ装置に関する情報に基づいて、移動先アクセルルータ装置が高速モバイルIP対応であると判定した場合、高速モバイルIP制御部がホームエージェント装置に対して移動通信装置宛データを移動先アクセルルータ装置へ転送するようにモバイルIP・高速モバイルIP処理部を制御する。これにより、移動通信装置は移動元アクセルルータが高速モバイルIP対応でない場合でも、パケットロスを削減することができる。

【0035】

また、本発明の移動通信装置の高速モバイルIP対応判別部は、移動元アクセルルータ装置が高速モバイルIPに対応しており、かつ移動先アクセルルータ装置が高速モバイルIPに対応していないと判定した場合、高速モバイルIP制御部が、移動元アクセルルータ装置に対して移動通信装置宛データをホームエージェント装置へ転送するようにモバイルIP・高速モバイルIP処理部を制御する。これにより、移動通信装置は移動先アクセルルータが高速モバイルIP対応でない場合でも、パケットロスを削減することができる。

。

【0036】

また、本発明の移動通信装置のモバイルIP・高速モバイルIP処理部は、移動元アクセルルータ装置へ、高速モバイルIP手順によるファストバインディングアップデートメッセージの新気付アドレスフィールドにホームエージェント装置のアドレスを記載したメッセージを送信する。これにより、新たにパケットフォーマットを定義する必要がなくなる。

【0037】

また、本発明のホームエージェント装置は、標準的なモバイルIP処理および高速モバイルIP処理を実施するモバイルIP・高速モバイルIP処理部と、管理対象である移動通信装置宛のパケットを一時的に蓄積するバッファメモリと、モバイルIP・高速モバイルIP処理部が受信した移動通信装置への送信パケットの蓄積、あるいは蓄積されたパケットの送出の要求を受け、バッファメモリに対する入出力を管理するバッファ管理部とを具備する。これにより、移動通信装置は移動元アクセルルータもしくは移動先アクセルルータのいずれかが高速モバイルIP対応でない場合でも、パケットロスを削減することができる。

【0038】

また、本発明のホームエージェント装置のバッファ管理部は、移動元アクセルルータ装置からバッファリングの開始を要求するメッセージを受信したときにパケットのバッファリングを開始し、移動先アクセルルータ装置からバッファリングされたパケットの送信開

始を要求するメッセージを受信したときにバッファリングされたパケットを宛先の移動通信装置に送信する。これにより、移動通信装置宛のパケットのロスを防ぐことができる。

【0039】

また、本発明のホームエージェント装置の移動先アクセスルータ装置に関する情報の問い合わせに応じて、アクセスルータ装置に関する情報を記憶したアクセスルータ情報サーバ装置に対して移動先アクセスルータに関する情報を要求し、取得した情報を要求元に通知する移動先アクセスルータ探索部をさらに有する。これにより、ホームエージェント装置がアクセスルータに関する情報を記憶する必要がなくなる。

【0040】

また、本発明のホームエージェント装置の移動先アクセスルータ探索部は、移動通信装置から要求を受ける際に取得した移動先アクセスルータ装置の識別子をもとに、アクセスルータ情報サーバ装置に対して要求する。これにより、ホームエージェント装置は移動通信装置の移動先アクセスルータに関する情報を容易に取得することができる。

【0041】

また、本発明のホームエージェント装置は、さらに、アクセスルータ装置の識別子と、当該アクセスルータ装置のIPアドレスと、当該アクセスルータ装置の高速モバイルIP対応の可否とを記録したアクセスルータ情報リスト、及び受信した、アクセスルータ装置に関する情報を要求するメッセージに含まれる識別子をもとに、該当するエントリを検索するアクセスルータ情報検索部をさらに具備し、移動先アクセスルータ探索部が、要求に応じて、アクセスルータ情報検索部に対して移動先アクセスルータ装置に関する情報の検索を指示する。これにより、ホームエージェント装置は移動通信装置の移動先アクセスルータに関する情報を容易に取得することができる。

【0042】

また、本発明のホームエージェント装置において、前記アクセスルータの識別子は、下位レイヤアドレス、および基地局IDの少なくともいずれか一方である。これにより、ホームエージェント装置は移動先アクセスルータを一意に識別することができる。

【0043】

また、本発明のアクセスルータ情報サーバ装置は、アクセスルータ装置の識別子と、当該アクセスルータ装置のIPアドレスと、当該アクセスルータ装置の高速モバイルIP対応の可否とを記録したアクセスルータ情報リストと、ネットワーク上の各種装置からアクセスルータ装置に関する情報の要求を受信する受信部と、受信した前記要求に含まれる識別子をもとに、アクセスルータ情報リストから該当するエントリを検索するアクセスルータ情報検索部と、検索結果を要求の送信元に通知するアクセスルータ情報通知部とを具備する。これにより、移動通信装置は、アクセスルータ情報サーバ装置に移動先アクセスルータ装置に関する情報を要求するメッセージを送信することで、移動先アクセスルータに関する情報を取得できる。

【0044】

また、本発明のアクセスルータ情報サーバ装置において、前記アクセスルータの識別子は、下位レイヤアドレスである、および基地局IDのいずれかである。これにより、アクセスルータ情報サーバ装置は移動先アクセスルータを一意に識別することができる。

【発明の効果】

【0045】

本発明の移動通信方法によれば、移動通信装置が異なるサブネットワークに移動する際に、移動元アクセスルータ装置、および移動先アクセスルータ装置の高速モバイルIPへの対応状況に応じて、適する転送方法を講じることが可能であり、いずれかが高速モバイルIPに対応していない場合においてもパケットロスを低減することができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0046】

以下、本発明の実施の形態について、図面を参照しながら説明する。なお、以下の図面において、同一の構成ブロックは同じ符号で示す。

【0047】

(実施の形態1)

図1は、本発明による移動通信システムの構成図である。図1において、インターネット1はインターネットプロトコルが実装された複数のルータおよびホストから構成されるネットワークであり、ローカルネットワーク10、11はインターネットに接続され、インターネットプロトコルが実装された複数のルータおよびホストから構成されるネットワークであり、移動通信装置20はインターネットプロトコルを用いて通信を行うものであり、通信相手端末80は移動通信装置20と通信を行うものであり、ホームエージェント装置40は移動通信装置20の位置管理を行うものであり、アクセスルータ装置100a~100cはローカルネットワーク10に接続されたものであり、アクセスルータ装置100d~100fはローカルネットワーク11に接続されたものである。

【0048】

本発明の実施の形態1では、ローカルネットワーク10が高速モバイルIPに対応しており、ローカルネットワーク11が高速モバイルIPに対応していない場合について説明する。つまり、ローカルネットワーク10に接続されているアクセスルータ装置100a~100cは高速モバイルIP手順で使用するメッセージを処理することができ、パケットのバッファリングおよび移動通信装置20への転送を行うことができる。また、ローカルネットワーク11に接続されているアクセスルータ装置100d~100fは高速モバイルIP手順で使用するメッセージを処理することができず、パケットのバッファリングや移動通信装置20への転送を行うことができない。

【0049】

本発明による移動通信システムにおいて、移動通信装置20がアクセスルータ装置100cからアクセスルータ装置100dに移動する際の動作について図6と図7のシーケンス図を用いて説明する。

【0050】

図6は、通信相手端末80から移動通信装置20までが経路最適化された状態でのシーケンス図であり、図7は経路最適化されていない状態でのシーケンス図である。なお、経路最適化とは、通信相手端末80から移動通信装置20への送信データが移動通信装置20のホームネットワークに属するホームアドレスを経由せずに、直接現在の移動通信装置20の気付アドレス宛に送信される状態をいう。

【0051】

移動通信装置20はハンドオーバー開始を決定すると(ステップS401)以下の動作を実施する。なお、ハンドオーバーの開始は、例えば、下位レイヤにおいて、現在接続しているアクセスルータ装置100cとは異なるアクセスルータ装置100d(あるいは基地局のようなアクセスポイント装置)からのビーコン信号を受信したことを契機に決定することができる。ビーコン信号によるハンドオーバー開始を決定する場合、移動通信装置20は、受信したビーコン信号からアクセスルータ装置100dの下位レイヤアドレス(MACアドレス、あるいは基地局ID)を取得可能であるかを確認する。また、移動通信装置20は、アクセスルータ装置100dが高速モバイルIP対応であるかを確認する。アクセスルータ装置100cが高速モバイルIP対応であるか否かは、例えばアクセスルータ装置100cが送信するルータ広告メッセージ(Router Advertisement Message)2400を参照し、ルータ広告メッセージ2400内に含まれる高速モバイルIP対応かを示すオプション領域の情報から判別する。例えば、図22に示すハンドオーバー能力拡張オプション2401(Handover Capability Extension)のコードフィールド2402が値「0」である場合、アクセスルータ装置は高速モバイルIPに対応していることを示す。または、移動通信装置20が代理ルータ要請メッセージを送信した後、一定回数応答がない場合に、アクセスルータ100cは高速モバイルIP対応でないと判断する。本実施の形態において、アクセスルータ装置100cは高速モバイルIP対応であるので、移動通信装置20はアクセスルータ装置100cに代理ルータ要請メッセージ(RtSolPr)1400を送信する(

ステップS402)。図27に代理ルータ要請メッセージ(Router Solicitation for Proxy Message)1400のフォーマットを示す。

【0052】

移動通信装置20は、受信ビーコン信号から下位レイヤアドレス(MACアドレスがこれに相当する)を取得できた場合、代理ルータ要請メッセージ1400のNew LLAフィールド1401にそれを記載する。なお、図27に示すようにメッセージにはIPヘッダなどが付加されるが、一般的に用いられるものと同様である。また、以下のメッセージについても同様である。

【0053】

アクセスルータ装置100cは、移動通信装置20から代理ルータ要請メッセージ1400を受信した(ステップS402)後、移動先アクセスルータ装置100dに関する情報を検索する。このとき、アクセスルータ装置100cは代理ルータ要請メッセージ1400内に下位レイヤアドレスが含まれる場合は、下位レイヤアドレスをもとに検索を行う。この検索は、アクセスルータ装置100cが保持している、同一サブネット内のアクセスルータ装置の情報を保持したアクセスルータ情報リストから検索するか、ネットワーク内のアクセスルータ装置の情報を記憶したアクセスルータ情報サーバ装置60に問い合わせる(ステップS420)。

【0054】

ここで、本発明によるアクセスルータ情報リストの構成を図14(a)、(b)、(c)に示す。図14(a)、(b)、(c)において、下位レイヤアドレス1301は対応するアクセスルータ装置の下位レイヤアドレス、IPアドレス1302は対応するアクセスルータ装置のIPアドレス、フラグ1303は対応するアクセスルータ装置が高速モバイルIPに対応しているかを示すフラグである。

【0055】

アクセスルータ情報サーバ装置60は、アクセスルータ装置に関する情報を保持しており、要求に応じて所望のアクセスルータ装置のIPアドレス等の情報を検索し、応答する。検索の結果、所望のアクセスルータ装置、すなわち移動先アクセスルータ装置100dに関する情報を発見することができなかった場合、もしくは、移動先アクセスルータ装置100dに関する情報を発見することができたが、高速モバイルIP対応でないことがわかった場合、アクセスルータ装置100cは、移動先アクセスルータ装置100dに関する情報を発見できなかった、もしくは情報は発見できたが高速モバイルIP対応でなかったことを示すコードを図28に示すコードフィールド1501に記載した代理ルータ広告メッセージ(Proxy Router Advertisement Message)1500を移動通信装置20へ送信する(ステップS403)。ここで、Router Advertisement Message2400のハンドオーバーパビリティオプション2401を代理ルータ広告メッセージ1500に付加して、コードフィールド2402に発見した移動先アクセスルータ装置100dの高速モバイルIP対応を記載したメッセージを送信してもよく、上記と同等の効果を得ることができる。

【0056】

移動通信装置20は、代理ルータ広告メッセージ1500内に含まれるコードフィールド1501を参照し、アクセスルータ装置100dに関する情報を取得できたか否か、もしくはアクセスルータ装置100dの高速モバイルIP対応であるか否かについて確認する。あるいは、ハンドオーバーパビリティオプション2401が付加されている場合は、コードフィールド2402を参照し、アクセスルータ装置100dの高速モバイルIP対応について確認する。

【0057】

移動通信装置20は、移動元アクセスルータ装置100cが高速モバイルIP対応であるので、アクセスルータ装置100cにファストバインディングアップデートメッセージFBUを送信し、移動通信装置20が高速モバイルIP手順を開始することを通知する(ステップS404)。

【0058】

図29にこのファストバインディングアップデートメッセージ (Fast Binding Update Message) 1600のパケットフォーマットを示す。ここにおいて、移動通信装置20は、ファストバインディングアップデートメッセージ1600内の代替気付アドレスフィールド1601に移動通信装置20自身が所属するホームエージェント装置40のIPアドレスを記載する。

【0059】

アクセスルータ装置100cはこのファストバインディングアップデートメッセージ1600を受信する(ステップS404)と、ハンドオーバーニシエートメッセージ(HI)1700をファストバインディングアップデートメッセージ1600内の代替気付アドレスフィールド1601に記載されたアドレス、すなわちホームエージェント装置40に送信する(ステップS405)。

【0060】

図32にハンドオーバーニシエートメッセージ(Handover Initiate Message)1700のパケットフォーマットを示す。ここで、ハンドオーバーニシエートメッセージ1700内の前気付アドレスフィールド(Previous CoA)1701に現在の気付アドレスを記載すると共に、ホームエージェント装置40にパケットのバッファリングを指示するUフラグ1703をセットする。バッファリングを要求しない場合は、Uフラグ1703をセットしなくてもよい。

【0061】

ホームエージェント装置40はアクセスルータ装置100cからハンドオーバーニシエートメッセージ1700を受信した後、ハンドオーバーニシエートメッセージ1700の前気付アドレスフィールド1701に記載された気付アドレスに対応するホームアドレス、すなわち移動通信装置20のホームアドレス、がバインディングキャッシュに存在することを確認する。図4はバインディングキャッシュのデータ構造を示す図である。ホームアドレス2301は、このホームエージェント装置40が管理するノードのホームアドレスであり、気付アドレス2302はホームエージェント装置が属するサブネット以外のネットワークでのノードのアドレスであり、シーケンス番号2303は、以前に受信したバインディングアップデートメッセージのシーケンス番号の最大値であり、ライフタイム2304はこのバインディングキャッシュに登録しているノードの有効期間を示している。この場合、ホームエージェント装置40は、前気付アドレスフィールド1701のアドレスがホームアドレス2301に有るか否かを確認する。また、ハンドオーバーニシエートメッセージ1700のバッファリングを指示するUフラグ1703がセットされている場合、移動通信装置20の該当する気付アドレス宛のパケットおよびホームアドレス宛のパケットのバッファリングを開始する。

【0062】

ここで、通信相手端末80から移動通信装置20への通信経路は最適化されている場合、図6に示すように通信相手端末80はホームエージェント装置40ではなく、直接、アクセスルータ装置100cにデータパケットが送信される(ステップS417)。アクセスルータ装置100cはファストバインディングアップデートメッセージ1600を受信しているので、受信した移動通信装置20宛のデータパケットをホームエージェント装置40へ転送する。

【0063】

一方、通信経路は最適化されていない場合、図7に示すように通信相手端末80からホームエージェント装置40へデータパケットが送信される(ステップS419)。

【0064】

そして、ホームエージェント装置40はこの転送された移動通信装置20宛のデータパケットをバッファリングする(ステップS408)。

【0065】

その後、ホームエージェント装置40は、アクセスルータ装置100cにハンドオーバ

処理が成功したことを示すハンドオーバーアクリジメント (HACK) 1800メッセージを送信する (ステップS406)。図33にハンドオーバーアクリジメントメッセージ (Handover Ack Message) 1800のフォーマットを示す。

【0066】

アクセスルータ装置100cは、ハンドオーバーアクリジメントメッセージ1800を受信した後、ファストバインディングアクリジメントメッセージ (FBACK) を移動通信装置20に送信する (ステップS407)。図23にファストバインディングアクリジメントメッセージ (Fast Binding Ack Message) 1900のフォーマットを示す。

【0067】

この間、通信相手端末80から移動通信装置20のホームアドレス宛てに送信されるパケットは前述したようにホームエージェント装置によりバッファリングされる (ステップSステップS408)。

【0068】

次に、移動通信装置20は、アクセスルータ装置100cからファストバインディングアクリジメントメッセージ1900を受信した後、下位レイヤでのハンドオーバー処理を行う (ステップS409)。そして、移動通信装置20は、下位レイヤにおけるハンドオーバー処理が終了した後、移動先アクセスルータ装置100dにルータ要請メッセージ (RtSol) を送信する (ステップS410)。

【0069】

アクセスルータ装置100dは、このルータ要請メッセージを受信した後、少なくとも自身のサブネットプレフィクスを含んだルータ広告メッセージを移動通信装置20に送信する (ステップS411)。

【0070】

移動通信装置20はアクセスルータ装置100dからこのルータ広告メッセージを受信した後、気付アドレスを生成する (ステップS421)。その後、移動通信装置20は、アクセスルータ装置100dを介して生成した気付アドレスと自身のホームアドレスを含むバインディングアップデートメッセージ (BU) 2200をホームエージェント装置40に送信し、移動先の気付アドレスを通知する (ステップS412)。図26にバインディングアップデートメッセージ (Binding Update Message) 2200のフォーマットを示す。ホームアドレス (Home Address) フィールド2201に自身のホームアドレスを記載し、ソースアドレス (Source Address) フィールド2203に気付アドレスを記載する。

【0071】

次に、ホームエージェント装置40は、このバインディングアップデートメッセージ2200を受信した (ステップS412) 後、バインディングキャッシュ2300を更新し、バッファリングしていたパケットを新たな気付アドレスへ送信開始する (ステップS414)。その後、ホームエージェント装置40は、アクセスルータ装置100dを介してバインディングアクリジメントメッセージ (BA) を移動通信装置20に送信する (ステップS413)。

【0072】

移動通信装置20は、ホームエージェント装置40からバインディングアクリジメントメッセージを受信し (ステップS413)、位置登録が完了したことを確認する。

【0073】

さらに、移動通信装置20は標準的なモバイルIP手順に従って、通信相手端末80にバインディングアップデートメッセージ2200を送信する (ステップS415)。通信相手端末80はバインディングアップデートメッセージ2200を受信した後、保持しているバインディングキャッシュ2300を更新し、移動通信装置20と直接通信を行う (ステップS416)。

【0074】

なお、上記の説明の使用したパケットフォーマットはこれに限らず、同様の効果があれば、別のフォーマットでもよい。(移動通信装置)

次に、本発明による移動通信装置 20 の構成および動作について図を用いて説明する。

【0075】

図 2 は、本発明による移動通信装置 20 の構成図である。図 2 において、下位レイヤ処理部 21、22 は変復調やアクセス制御などの処理を行い、IP 処理部 23 はインターネットプロトコル (IP) を用いてパケットの転送などを行い、上位レイヤ処理部 24 は IP 層より上位でアプリケーションの制御、セッション管理などを行う。また、モバイル IP・高速モバイル IP 処理部 25 は標準的なモバイル IP および高速モバイル IP 手順を実施し、高速モバイル IP 制御部 26 はモバイル IP・高速モバイル IP 処理部 25 に対して、特に高速モバイル IP に関する制御を行い、高速モバイル IP 対応判別部 27 は接続先のアクセスルータ装置の高速モバイル IP 対応可否を判別し、アクセスルータ探索部 28 は移動先候補となるアクセスルータ装置に関する情報を取得し移動先アクセスルータを決定する。なお、下位レイヤ処理部 21、22 は少なくとも 1 つ備えられていればよく、必ずしも 2 つ以上有する必要はない。

【0076】

上記構成される移動通信装置 20 の動作について、図 8 と図 9 に示す動作フロー図を用いて詳しく説明する。

【0077】

まず、モバイル IP・高速モバイル IP 処理部 25 は、現在接続しているアクセスルータ装置 100c とは異なるアクセスルータ装置 100d への接続が可能であることを検知すると、ハンドオーバー開始トリガを発行する (ステップ S601)。ハンドオーバー開始トリガは下位レイヤにおいて発行されるものでも、アプリケーションを含む上位層によって発行されるものでもよい。例えば、下位レイヤが IEEE 802.11 の場合は異なるアクセスルータ装置 (あるいはアクセスルータ装置に接続されたアクセスポイント装置) からビーコン信号を受信したことをトリガとする。

【0078】

ここで、モバイル IP・高速モバイル IP 処理部 25 はハンドオーバー開始トリガ発行時に、移動先となるアクセスルータ装置 100d の識別子 (ID) が取得可能である場合は取得する (ステップ S602)。例えば、受信したビーコン信号に含まれる下位レイヤアドレスを識別子として取得する。なお、他の識別子としては基地局 ID などがある。

【0079】

移動先アクセスルータ装置 100d の識別子を取得できない場合、モバイル IP・高速モバイル IP 処理部 25 は、ホームエージェント装置 40 にバッファリングリクエストメッセージ 2000 を送信し、移動通信装置 20 のホームアドレス宛のパケットをバッファリングすることを要求する (ステップ S603)。図 24 にバッファリング要求メッセージ (Buffering Request Message) 2000 のフォーマットを示す。メッセージにはバッファリングを要求することを示す B フラグ 2001 をセットし、ホームアドレスフィールド 2002 に移動通信装置 20 自身のホームアドレスを記載する。

【0080】

移動先アクセスルータ装置 100d の識別子を取得できた場合は、高速モバイル IP 対応判別部 27 が移動元アクセスルータ装置 100c の高速モバイル IP 対応可否を確認する (ステップ S604)。高速モバイル IP 対応可否は、移動元アクセスルータ装置 100c から受信したルータ広告メッセージ 2400 に付加されたハンドオーバーパビリティオプション 2401 のコードフィールド 2402 に記載された値により判別することができる。または、移動通信装置 20 が代理ルータ要請メッセージを送信した後、一定回数応答がない場合に、アクセスルータ 100c は高速モバイル IP 対応でないと判断する。

【0081】

なお、移動元アクセスルータ装置 100c の高速モバイル IP 対応確認は、事前に行う

ことも可能であり、その際は対応可否を別途記憶しておく必要がある。

【0082】

本実施の形態では、移動元アクセスルータ装置100cは、高速モバイルIPに対応しており、コードフィールド2402に「0」をセットして送信しているので、高速モバイルIP対応判別部27は、移動元アクセスルータ装置100cが高速モバイルIPに対応しているものとして判別結果を高速モバイルIP制御部26に送信する。

【0083】

高速モバイルIP制御部26は、移動元アクセスルータ装置100cに代理ルータ要請メッセージ1400を送信するようにモバイルIP・高速モバイルIP処理部25に指示し、モバイルIP・高速モバイルIP処理部25がメッセージの生成および送信処理を行う(ステップS606)。このとき、代理ルータ要請メッセージ1400には移動先アクセスルータ装置100dの識別子を記載する。特に識別子が下位レイヤアドレスである場合は、New LLAフィールド1401に記載する。代理ルータ要請メッセージ1400は、モバイルIP・高速モバイルIP処理部25からIP処理部23に送られ、選択された下位レイヤ処理部21あるいは22から、ネットワークに送出される。

【0084】

次に、代理ルータ広告メッセージ1500の受信からホームエージェント装置40にバッファリングされていたデータパケットを受信するまでの動作について図9を用いて説明する。

【0085】

まず、モバイルIP・高速モバイルIP処理部25が代理ルータ要請メッセージ1400の応答として、代理ルータ広告メッセージ(P r R t A d v) 1500を受信すると(ステップS701)、移動先アクセスルータ装置100dに関する情報が含まれているかを確認し(ステップS702)、含まれている場合は、アクセスルータ探索部28に通知する。例えば、New Router Prefixフィールド1502に移動先アクセスルータ装置100dのIPアドレスあるいは移動先アクセスルータ装置100dが管理するネットワークプレフィクスが記載されているかを確認する。

【0086】

移動先アクセスルータ装置100dに関する情報が含まれていない場合、モバイルIP・高速モバイルIP処理部25は、ホームエージェント装置にバッファリング要求メッセージ2000を送信する(ステップS703)。

【0087】

移動先アクセスルータ装置100dに関する情報が含まれている場合は、代理ルータ広告メッセージ1500の送信元は移動元アクセスルータ装置100cであるかを判定する(ステップS704)。本実施の形態ではアクセスルータ装置100cが高速モバイルIP対応であるので、続けて高速モバイルIP対応判別部27が移動先アクセスルータ装置100dの高速モバイルIP対応可否を確認する(ステップS708)。確認処理は、先に示したのと同様に、代理ルータ広告メッセージ1500のコードフィールド1501あるいは図示していないハンドオーバーパブリシティオプション2401を用いて行う。

【0088】

次に、移動先アクセスルータ装置100dが高速モバイルIPに対応していないことを確認すると、高速モバイルIP制御部26は、ファーストバインディングアップデートメッセージ1600の代替気付アドレスフィールド1601に移動通信装置20自身のホームエージェント装置40のIPアドレス(あるいは移動通信装置20自身のホームアドレス)を記載して移動元アクセスルータ装置100cに送信する(ステップS709)。

【0089】

移動先アクセスルータ装置100dが高速モバイルIPに対応している場合は、高速モバイルIP制御部26は、高速モバイルIP手順を行うようモバイルIP・高速モバイルIP処理部25に指示する。すなわち、モバイルIP・高速モバイルIP処理部25は、ハンドオーバー先となるアクセスルータ装置のIPアドレスとして移動先アクセスルータ装

置100dのもの（あるいは移動先アクセスルータ装置100dに接続した際に使用可能となる移動通信装置20のIPアドレス）を代替気付アドレスフィールド1601に記載したファストバインディングアップデートメッセージ1600を移動元アクセスルータ装置100cに送信する（ステップS710）。

【0090】

ファストバインディングアップデートメッセージ1600の応答としてファストバインディングアクノリジメントメッセージ1900を受信すると（ステップS711）、モバイルIP・高速モバイルIP処理部25は、ハンドオーバー処理の開始を下位レイヤ処理部21および／または22に指示し、下位レイヤ処理部21および／または22はハンドオーバー処理を実施する。さらに下位レイヤにおけるハンドオーバーが完了すると、IP処理部23において新たに気付アドレスを取得するなどの接続処理を行う（ステップS712）。新たに気付アドレスを取得すると、モバイルIP・高速モバイルIP処理部は、標準的なモバイルIP手順に基づいてホームエージェント装置40に対してバインディングアップデート処理を実施する（ステップS713）。

【0091】

ここで、先にホームエージェント装置40（あるいは移動通信装置20自身のホームアドレス）に記載したファストバインディングアップデートメッセージ1600を送信した場合は、バインディングアップデート処理（ステップS713）の完了後にホームエージェント装置40が蓄積していたパケットが転送され、IP処理部23がそれを受信する（ステップS714）。

【0092】

また、先に標準的な高速モバイルIP手順を実施、すなわち移動先アクセスルータ装置100dのIPアドレスに記載したファストバインディングアップデートメッセージ1600を送信した場合は、ハンドオーバー処理（ステップS712）の完了後に蓄積されたパケットが転送され、IP処理部23がそれを受信する。なお、移動通信装置20は、複数のアクセスルータ装置100について識別子を取得し、それらに関する情報を取得してもよい。このときアクセスルータ探索部28において、複数の移動先候補アクセスルータ装置100の中から一つを選択するのに際して、例えば図14（b）あるいは（c）に示すようなアクセスルータ情報リスト1300の優先度1304や伝送レート値1305などの選定要件となる情報を、アクセスルータ装置に関する情報を取得する先のホームエージェント装置40、アクセスルータ情報サーバ装置60、またアクセスルータ装置100に要求して取得し、アプリケーションを含む上位層の要求に応じて比較選定することができる。例えば、図14（c）に示す伝送レート値1305を移動先アクセスルータに関する情報として併せて取得した場合、大容量データの送受信を行っているときには、伝送レート値1305が100Mbpsである下位レイヤアドレスが“2”であるアクセスルータ装置100を移動先アクセスルータ装置として決定することにより、違和感のないハンドオーバーを実現することができる。

【0093】

ただし、ここで決定した移動先アクセスルータ装置100dは、高速モバイルIPには対応していないので、上記説明したような手順を適用する必要がある。

【0094】

以上のように、本発明による移動通信装置によれば、高速モバイルIPに対応するアクセスルータ装置と、高速モバイルIPに対応しないアクセスルータ装置とが混在するネットワーク環境において、移動先アクセスルータが高速モバイルIPに対応していない場合でもホームエージェント装置を介することにより、高速モバイルIPと同じように、パケットロスをなくすることができるとともに、移動通信システムにおけるハンドオーバー時の転送効率を向上することができる。

（ホームエージェント装置）

次に、本発明によるホームエージェント装置40の構成および動作について図を用いて説明する。

【0095】

図3は、本発明によるホームエージェント装置40の構成図である。図3において、下位レイヤ処理部41、42は変復調やアクセス制御などの処理を行い、IP処理部43はインターネットプロトコル(IP)を用いてパケットの転送などを行い、上位レイヤ処理部44はIP層より上位でアプリケーションの制御、セッション管理などを行う。また、モバイルIP・高速モバイルIP処理部45は標準的なモバイルIPおよび高速モバイルIP手順を実施し、バッファメモリ47は収容する移動通信装置20宛のパケットを一時的に蓄積し、バッファ管理部46はバッファの入出力を管理する。

【0096】

なお、下位レイヤ処理部41、42は少なくとも1つ備えられていればよく、必ずしも2つ以上有する必要はない。

【0097】

上記のように構成されるホームエージェント装置40の動作について、図10乃至図12に示す動作フロー図を用いて詳しく説明する。

【0098】

ホームエージェント装置40は、移動通信装置20あるいはアクセスルータ装置100から所定のメッセージを受信することによって対応する動作を開始する。以下、受信するメッセージ別に動作を説明する。

【0099】

図10は、ホームエージェント装置40が移動通信装置20の送信するバッファリング要求メッセージ2000を受信した場合の動作を示す動作フロー図である。

【0100】

モバイルIP・高速モバイルIP処理部45が下位レイヤ処理部41、42、IP処理部43を介してバッファリング要求メッセージ2000を受信したか否かをチェックし(ステップS901)、受信するとバッファ管理部46に通知する。

【0101】

次に、バッファ管理部46はバッファメモリ47の状況を確認してバッファリング可能であるかを判定する(ステップS902)。

【0102】

バッファ管理部46は、バッファ容量制限などの理由でバッファリングが不可能であると判定した場合は、その旨をステータスフィールド2101に記載したバッファリング応答メッセージ(Buffering Reply Message)2100を移動通信装置20に送信する(ステップS903)。

【0103】

バッファリング可能である場合は、以降、移動通信装置20宛のパケットをIP処理部43がバッファ管理部46に転送し、バッファ管理部46はバッファ47に蓄積する(ステップS904)。また、バッファリングを開始した旨をステータスフィールド2101に記載したバッファリング応答メッセージ2100を移動通信装置20に送信する(ステップS905)。その後、ステップS901へ戻る。

【0104】

図11は、ホームエージェント装置40がアクセスルータ装置の送信するハンドオーバーイニシエートメッセージ1700を受信した場合の動作を示す動作フロー図である。

【0105】

モバイルIP・高速モバイルIP処理部45が下位レイヤ処理部41、42、IP処理部43を介してハンドオーバーイニシエートメッセージ1700を受信すると(ステップS1001)、バッファリングを要求するUフラグ1703を確認する(ステップS1002)。バッファリング要求がある場合には、以降、移動通信装置20宛のパケットをIP処理部43がバッファ管理部46に転送し、バッファ管理部46はバッファ47に蓄積する処理を開始する(ステップS1003)。そして、バッファ管理部46はバッファリングを開始したことを通知する情報を含むステータスコードをコードフィールド1801に

記載したハンドオーバーバクノリジメントメッセージ1800を移動通信装置20に送信する(ステップS1004)。ここで、バッファリングが不可能であるとステップS1003の中で判断された場合は、その旨をコードフィールド1801に記載したハンドオーバーバクノリジメントメッセージ1800を移動通信装置20に送信する(ステップS1004)。

【0106】

ステップS1002において、バッファリング要求がない場合は、バッファ管理部46は所定のステータスコードをコードフィールド1801に記載したハンドオーバーバクノリジメントメッセージ1800を移動通信装置20に送信する(ステップS1004)。

【0107】

図12は、ホームエージェント装置40が移動通信装置20の送信するバインディングアップデートメッセージ(Binding Update Message)2200を受信した場合の動作を示す動作フロー図である。

【0108】

モバイルIP・高速モバイルIP処理部45が下位レイヤ処理部41または42、IP処理部43を介してバインディングアップデートメッセージ2200を受信する(ステップS1200)と、バッファリングしたパケットの転送を要求するTフラグ2202がセットされているかを確認する(ステップS1201)。Tフラグ2202がセットされていない場合は、モバイルIP・高速モバイルIP処理部45が標準的なモバイルIP手順にしたがってバインディングアップデートメッセージ2200を処理する(ステップS1204)。その後、ステップS1200へ戻る。

【0109】

Tフラグ2202がセットされている場合、モバイルIP・高速モバイルIP処理部45がバッファ管理部46に通知し、バッファ管理部46は移動通信装置20宛のパケットがバッファ47に蓄積されているかを確認する(ステップS1202)。蓄積されている場合は当該パケットを移動通信装置20に送信するためIP処理部43に転送する(ステップS1203)。

【0110】

さらにモバイルIP・高速モバイルIP処理部45が標準的なモバイルIP手順にしたがってバインディングアップデートメッセージ2200を処理する(ステップS1204)。

【0111】

蓄積パケットがない場合も、さらにモバイルIP・高速モバイルIP処理部45が標準的なモバイルIP手順にしたがってバインディングアップデートメッセージ2200を処理する(ステップS1204)。

【0112】

なお、Tフラグ2202を設けない場合でも、バッファリング対象である移動通信装置20からのバインディングアップデートメッセージ2200を受信できたことにより、新たな通信路を確保できたことが確認できるので、バッファリングされたパケットの転送を行ってもよい。

(アクセスルータ情報サーバ装置)

次に、本発明によるアクセスルータ情報サーバ装置60の構成および動作について図を用いて説明する。

【0113】

図5は、本発明によるアクセスルータ情報サーバ装置60の構成図である。図5において、下位レイヤ処理部61から62は変復調やアクセス制御などの処理を行い、IP処理部63はインターネットプロトコル(IP)を用いてパケットの転送などを行い、上位レイヤ処理部64はIP層より上位でアプリケーションの制御、セッション管理などを行う。また、アクセスルータ情報リスト65はアクセスルータの情報を記憶しており、アクセスルータ情報検索部66はアクセスルータ情報リストからアクセスルータの情報を検索し

、アクセスルータ情報通知部 67 はアクセスルータ情報検索部 66 での検索結果を移動通信装置に通知する。なお、下位レイヤ処理部 61、62 は少なくとも 1 つ備えられていればよく、必ずしも 2 つ以上有する必要はない。

【0114】

上記構成されるアクセスルータ情報サーバ装置 60 の動作について、図 13 に示す動作フロー図を用いて詳しく説明する。

【0115】

アクセスルータ情報サーバ装置 60 は、移動通信装置 20 あるいはホームエージェント装置 40 あるいはアクセスルータ装置 100 から所定のメッセージを受信したときに対応する動作を開始する。以下、受信するメッセージ別に動作を説明する。

【0116】

図 13 は、移動通信装置 20 あるいはホームエージェント装置 40 あるいはアクセスルータ装置 100 が送信する問い合わせメッセージ 2500 を受信した場合の動作を示す動作フロー図である。

【0117】

まず、アクセスルータ情報検索部 66 が下位レイヤ処理部 61、62、IP 処理部 63 または上位レイヤ処理部 64 を介して問い合わせメッセージ 2500 を受信すると（ステップ S1300）、アクセスルータ情報リスト 65 から該当する情報の検索を行う（ステップ S1301）。図 30 に問い合わせメッセージ（Request Message）2500 のフォーマットを示す。

【0118】

ここでアクセスルータ情報リストは、例えば図 14（a）に示すような構成をとり、アクセスルータ装置 100 の下位レイヤアドレス 1301 と IP アドレス 1302、高速モバイル IP 対応可否 1303 を示す情報を含む。さらには、図 14（b）に示すような付加情報、すなわちアクセスルータ装置 100 を選択する際の優先度 1304 や、図 14（c）に示す各アクセスルータ装置 100 が提供する伝送レート値 1305 などの情報を含むものであってもよい。

【0119】

また、情報の検索においては、アクセスルータ情報リスト内で問い合わせメッセージ 2500 内に含まれる下位レイヤアドレス 2501 と一致する下位レイヤアドレス 1301 に対応する IP アドレス 1302 を少なくとも検索する。

【0120】

次に、アクセスルータ情報通知部 67 は得られた情報を記載した応答メッセージ 2600 を問い合わせメッセージの送信元に送信する（ステップ S1302）。図 31 に応答メッセージ（Reply Message）2600 のフォーマットを示す。アドレスフィールド（Address）2601 に検索した IP アドレスを記載する。

【0121】

なお、応答メッセージ内に優先度や伝送レートなどの付加情報を含めるときは、応答メッセージに優先度や伝送レートなどの付加情報を含める領域を含んでもよい。また、上記のパケットフォーマットはこれに限らず同様の効果があれば、別のフォーマットでもよい。

【0122】

このように、本実施の形態のアクセスルータ情報サーバ装置によれば、アクセスルータ装置の情報として、高速モバイル IP 対応の可否情報、さらには移動先アクセスルータを選択する際の目安となる優先度や伝送レートなどの付加情報を提供することができる。これにより、これらの情報の提供を受けた移動通信装置は移動先アクセスルータ装置を柔軟に選択することができるので、本発明に係る移動通信システムにおいて、アプリケーションを含む上位層に適したハンドオーバを実現することが可能になる。

【0123】

以上のように、本実施の形態によれば、高速モバイル IP に対応するアクセスルータ装

置と対応しないアクセスルータ装置が混在するネットワーク環境において、移動通信装置が移動元アクセスルータ装置と移動先アクセスルータ装置とが高速モバイルIPに対応しているかを判定し、移動先アクセスルータが高速モバイルIPに対応していない場合でも、移動通信装置が移動先アクセスルータ装置の代理としてホームエージェント装置を指定して高速モバイルIP手順を実施するので、パケットロスのないハンドオーバを実現することができると共に、両方のアクセスルータ装置が高速モバイルIPに対応している場合には、高速モバイルIPを相互間で行うので、ハンドオーバ時の転送効率を高めることが可能になる。

【0124】

(実施の形態2)

図15は、本実施の形態における移動通信システムの構成であり実施の形態1とは、ホームエージェント装置40aが移動先アクセスルータ装置を探索する機能を有している点異なる。

【0125】

本発明の実施の形態2では、高速モバイルIPに対応していないローカルネットワーク11から、高速モバイルIPに対応しているローカルネットワーク10へ移動通信装置20が移動する場合について説明する。なお、以下の説明で用いるメッセージフォーマットは実施の形態1で用いたものと同様である。

【0126】

図16と図17は本実施の形態の動作を説明するシーケンス図である。図16は通信相手端末80から移動通信装置20への通信経路が、最適化されていない状態での動作を示しており、移動通信装置20へのデータパケットはホームアドレスへ送信されている。ホームエージェント装置40はそのデータパケットを現在接続しているアクセスルータ装置100dへ転送し、アクセスルータ装置100dが移動通信装置20へさらに転送している。

【0127】

一方、図17は通信相手端末80から移動通信装置20への通信経路が最適化された状態での動作を示しており、移動通信装置20へのデータパケットはアクセスルータ装置100dへ直接送信され、アクセスルータ装置100dが移動通信装置20へそれを転送している。

【0128】

まず、移動通信装置20は、実施の形態1と同様にハンドオーバ開始を決定する(ステップS501)。このとき、移動通信装置20は図17に示した経路の最適化が行われている場合、通信相手端末80へライフタイム(Life Time)フィールドを「0」に設定したバインディングアップデートメッセージ2200を送信し、移動通信装置20とアクセスルータ装置100dとのバインディングを解除し最適化でない状態にする。これによって、以降の処理をすることで、ハンドオーバでの通信相手端末80から移動通信装置20へのデータパケットのロスを無くすることが可能になる。

【0129】

次に、移動通信装置20は、ビーコン信号によるハンドオーバ開始を決定する場合、受信したビーコン信号からアクセスルータ装置100cの下位レイヤアドレスを取得可能であることを確認する。また、移動通信装置20は、アクセスルータ装置100dが高速モバイルIP対応であることを確認する。本実施の形態においてアクセスルータ装置100dは高速モバイルIPに対応していないので、移動通信装置20はアクセスルータ装置100dを介してホームエージェント装置40に代理ルータ要請メッセージ(RtSolPr)1400を送信する(ステップS502)。なお、受信ビーコン信号から下位レイヤアドレスを取得できた場合、代理ルータ要請メッセージ1400のNewLLAフィールド1401にその下位レイヤアドレスを記載する。

【0130】

次に、ホームエージェント装置40は、移動通信装置20から代理ルータ要請メッセー

ジ1400を受信した後、移動先アクセスルータ装置100cに関する情報を検索する。このとき、代理ルータ要請メッセージ1400内に下位レイヤアドレスが含まれる場合は、下位レイヤアドレスをもとに検索を行う。上記検索は、自身が保持しているアクセスルータ装置の情報を保持したアクセスルータ情報リストから検索するか、あるいはネットワーク内のアクセスルータ装置の情報を記憶したアクセスルータ情報サーバ装置60に問い合わせる(ステップS520)。

【0131】

検索の結果、下位レイヤアドレスに対応するエントリを発見することができ、高速モバイルIPに対応していることがわかった場合、ホームエージェント装置40は、下位レイヤアドレスに対応するアクセスルータ装置100cに関する情報の中からIPアドレスを新ルータプレフィックス(New Router Prefix)フィールド1502に記載した代理ルータ広告メッセージ(PrRtAdv)1500を送信する(ステップS503)。

【0132】

次に、移動通信装置20は、アクセスルータ装置100dを介して、この代理ルータ広告メッセージ1500を受信し、移動先アクセスルータ装置100cに関する情報としてNew Router Prefixフィールド1502に記載されたIPアドレスを取得する。続けて、移動通信装置20はアクセスルータ装置100dを介して、ホームエージェント装置40にファストバインディングアップデートメッセージ(FBU)1600を送信する(ステップS504)。このとき、ファストバインディングアップデートメッセージ1600の宛先アドレスには、ホームエージェント装置40のグローバルアドレスを記載する。また、ファストバインディングアップデートメッセージ1600内の代替気付アドレスフィールド1601には、先に取得した移動先アクセスルータ装置100cに関する情報に含まれるIPアドレスを記載する。

【0133】

なお、移動先アクセスルータ装置に関する情報の取得は、移動通信装置20が直接行ってもよい。その場合、移動通信装置20はステップS502およびステップS503の処理は実施せず、ステップS520の処理を移動通信装置20自身の始動によりアクセスルータ情報サーバ装置60との間で実施し、得られた情報をもとにステップS504の処理を実施する。

【0134】

次に、ホームエージェント装置40は、ファストバインディングアップデートメッセージ1600を受信した後、ハンドオーバーニシエートメッセージ(HI)1700をファストバインディングアップデートメッセージ1600の代替気付アドレスフィールド1601に示されているアドレス、すなわち移動先アクセスルータ装置100dに送信する(ステップS505)。このとき、ハンドオーバーニシエートメッセージ1700内の前の気付アドレスフィールド1701に、移動通信装置20の現在の気付アドレスを記載し、また、アクセスルータ装置100cにパケットのバッファリングを指示するUフラグ1703をセットする。バッファリングを要求しない場合は、Uフラグ1703はセットしなくてもよい。なお、ホームエージェント装置40はバインディングキャッシュの更新もこのときに行う。

【0135】

次に、移動先アクセスルータ装置100cは、ホームエージェント装置40からハンドオーバーニシエートメッセージ1700を受信した後、ハンドオーバーニシエートメッセージ1700にバッファリングを指示するUフラグ1703がセットされている場合、以降に受信する移動通信装置20の気付アドレス宛のパケットのバッファリングを開始する。すなわち、ホームエージェント装置40が、移動通信装置20のホームアドレス宛に送信されてきた(ステップS518)データパケットをアクセスルータ装置100cへ転送する(ステップS519)と、アクセスルータ装置100cは移動通信装置20宛のパケットであることを確認しバッファリングを行う(ステップS508)。

【0136】

その後、アクセスルータ装置100cは、ホームエージェント装置40にハンドオーバー処理が成功したことを示すハンドオーバーアクノリジメントメッセージ(HACK)1800を送信する(ステップS506)。

【0137】

次に、ホームエージェント装置40は、ハンドオーバーアクノリジメントメッセージ1800を受信した後、アクセスルータ装置100dを介して、ファストバインディングアクノリジメントメッセージ(FBACK)1900を移動通信装置20に送信する(ステップS507)。この間、通信相手端末80から移動通信装置20のホームアドレス宛てに送信されるパケットは上記の通り、アクセスルータ装置100cによりバッファリングされる(ステップS508)。

【0138】

次に、移動通信装置20は、アクセスルータ装置100dからファストバインディングアクノリジメントメッセージ1800を受信した(ステップS507)後、下位レイヤでのハンドオーバー処理を行う(ステップS509)。

【0139】

移動通信装置20は、下位レイヤにおけるハンドオーバー処理が終了した後、移動先アクセスルータ装置100cにルータ要請メッセージ(RtSol)を送信する(ステップS510)。

【0140】

次に、移動先アクセスルータ装置100cは、このルータ要請メッセージを受信した後、バッファリングしていたパケットを移動通信装置20に対して送信する(ステップS511)。

【0141】

また、移動先アクセスルータ装置100cは、少なくとも移動先アクセスルータ装置100c自身のサブネットプレフィクスを含んだルータ広告メッセージを移動通信装置20に送信する(ステップS512)。

【0142】

次に、移動通信装置20は、移動先アクセスルータ装置100cからルータ広告メッセージを受信した後、気付アドレスを生成し(ステップS520)、生成した気付アドレスと移動通信装置20自身のホームアドレスを含むバインディングアップデートメッセージBU2200を、アクセスルータ装置100cを介してホームエージェント装置40に送信する(ステップS513)。

【0143】

次に、ホームエージェント装置40は、バインディングアップデートメッセージ2200を受信した(ステップS513)後、バインディングキャッシュ2300の更新を行う。その後、バインディングアクノリジメントメッセージBAを移動通信装置20に送信する(ステップS514)。

【0144】

次に、移動通信装置20は、アクセスルータ装置100cを介してホームエージェント装置40からバインディングアクノリジメントメッセージを受信し(ステップS514)、位置登録が完了したことを認識する。

【0145】

その後、実施の形態1と同様に、移動通信装置20はモバイルIP手順に従って、通信相手端末80にバインディングアップデートメッセージ2200を送信する(ステップS415)。

【0146】

そして、通信相手端末80は、バインディングアップデートメッセージ2200を受信した後、保持しているバインディングキャッシュ2300を更新し経路最適化を行う。これにより、通信相手端末80は移動通信装置20のホームアドレスではなく、気付アドレ

スと直接通信を行う(ステップS416)。なお、上記のフォーマットはこれに限らず、同様の効果があれば、別のフォーマットでもよい。

(移動通信装置)

次に、本実施の形態における移動通信装置の動作について説明する。なお、本実施の形態における移動通信装置の構成および基本的な動作は、実施の形態1にて説明したものと同じであり、本実施の形態が異なる点は、高速モバイルIP非対応の移動元アクセスルータ装置100dからの移動であり、移動通信装置が高速モバイルIP手順をホームエージェント装置に対して適用する点である。以下詳しく説明する。

【0147】

図8と図9に示す移動通信装置20の動作フロー図において、処理S604の結果として移動元アクセスルータ装置100cが高速モバイルIPに対応していないことが高速モバイルIP対応判別部27によって検出されると、高速モバイルIP制御部26はモバイルIP・高速モバイルIP処理部25に対して、ホームエージェント装置に代理ルータ要請(RtSolPr)メッセージ1400を送信するように指示する。そして、モバイルIP・高速モバイルIP処理部25はIP処理部23を介して送信処理を行う(ステップS605)。代理ルータ要請メッセージ1400には先に取得した移動先アクセスルータ装置100cの識別子を記載する。特に識別子が下位レイヤアドレスである場合は、新LLA(New LLA)フィールド1401に記載する。

【0148】

代理ルータ要請メッセージ1400の応答として、代理ルータ広告メッセージ1500をモバイルIP・高速モバイルIP処理部25がIP処理部23を介してホームエージェント装置40から受信すると(ステップS701)、実施の形態1と同様に移動先アクセスルータ装置100cに関する情報を取得する(ステップS702)。

【0149】

本実施の形態では、代理ルータ広告メッセージ1500はホームエージェント装置40から受信したので(ステップS704)、処理S705を実施する。すなわち、取得した移動先アクセスルータ装置100dの高速モバイルIP対応可否を確認する(ステップS705)。

【0150】

対応していない場合、実施の形態1と同様にホームエージェント装置40にバッファリング要求メッセージ2000を送信する(ステップS706)。

【0151】

対応している場合、高速モバイルIP制御部26は、ハンドオーバー先となるアクセスルータ装置のIPアドレスとして移動先アクセスルータ装置100cのもの(あるいは移動先アクセスルータ装置100cに接続した際に使用可能となる移動通信装置20のIPアドレス)をファーストバインディングアップデートメッセージ1600の代替気付アドレスフィールド1601に記載し、モバイルIP・高速モバイルIP処理部25に送信を指示する。モバイルIP・高速モバイルIP処理部25はこの指示を受けてファーストバインディングアップデートメッセージ1600をホームエージェント装置40に送信する(ステップS707)。

【0152】

以降の処理は、実施の形態1と同じである。以上のように、本発明による移動通信装置によれば、高速モバイルIPに対応するアクセスルータ装置と対応しないアクセスルータ装置が混在するネットワーク環境において、移動元アクセスルータが高速モバイルIPに対応していない場合でもホームエージェント装置を介することにより、高速モバイルIPと同等の効果をあげることができ、移動通信システムにおけるハンドオーバー効率を向上することができる。

(ホームエージェント装置)

次に、本発明によるホームエージェント装置40の構成および動作について図を用いて説明する。なお、本実施の形態におけるホームエージェント装置の構成および基本的な動

作は、実施の形態 1 にて説明したものと同一であり、以下では異なる点のみ説明する。

【0153】

図 18 は本実施の形態におけるホームエージェント装置 40 の構成を示す図であり、実施の形態 1 と異なる点は、移動端末装置 20 の移動先となる移動先アクセスルータ装置 100c に関する情報を取得する移動先アクセスルータ探索部 48 を有する。

【0154】

また、図 19 は本実施の形態におけるホームエージェント装置 40 の第二の構成を示す図であり、図 18 と異なる点は、アクセスルータ装置に関する情報を記憶したアクセスルータ情報リスト 50 と、アクセスルータ情報検索部 49 とを有することである。このアクセスルータ情報検索部 49 は、移動先アクセスルータ探索部 48 と接続してアクセスルータ情報リスト 50 から該当するアクセスルータ装置に関する情報を検索し、移動先アクセスルータ探索部 48 に転送するものである。

【0155】

上記構成されるホームエージェント装置 40 の動作については、実施の形態 1 で説明した図 10 乃至図 12 と同一である。

【0156】

次に、ホームエージェント装置 40 が、移動通信装置 20 から所定のメッセージを受信することによって対応する動作を、図面を用いて受信するメッセージ別に説明する。

【0157】

図 20 は、ホームエージェント装置 40a が移動通信装置 20 の送信する代理ルータ要請メッセージ 1400 を受信した場合の動作を示す動作フロー図である。

【0158】

IP 処理部 43 が下位レイヤ処理部 41 または 42 を介して代理ルータ要請メッセージ 1400 を受信すると（ステップ S801）、モバイル IP・高速モバイル IP 処理部 45 に転送し、モバイル IP・高速モバイル IP 処理部 45 は代理ルータ要請メッセージ 1400 に記載された移動先アクセスルータ装置 100d の識別子、例えば下位レイヤアドレスを移動先アクセスルータ探索部 48 に通知して該当するアクセスルータ装置 100d に関する情報の検索を要求する。

【0159】

ここで、図 18 の構成を有するホームエージェント装置 40 では、移動先アクセスルータ探索部 48 が、上位レイヤ処理部 44、IP 処理部 43 を介して、アクセスルータ情報サーバ装置 60 に対して該当するアクセスルータ装置 100c に関する情報を要求するメッセージを送信し、その応答として得られるアクセスルータ装置 100c に関する情報をモバイル IP・高速モバイル IP 処理部 45 に転送する（ステップ S802）。

【0160】

また、図 19 の構成を有するホームエージェント装置 40 の移動先アクセスルータ探索部 48 は、アクセスルータ情報検索部 49 にアクセスルータ装置 100d の識別子を含む検索要求を発行し、アクセスルータ情報検索部 49 が、アクセスルータ情報リスト 50 から該当する情報の検索を行う（ステップ S802）。なお、アクセスルータ情報リストは、実施の形態 1 で説明したものと同一である。

【0161】

モバイル IP・高速モバイル IP 処理部 45 は、得られた情報を記載した代理ルータ広告メッセージ 1500 を移動通信装置 20 に送信する（ステップ S804）。また、該当するアクセスルータ装置 100c に関する情報が得られなかった場合は、その旨をコードフィールド 1501 に記載した代理ルータ広告メッセージ 1500 を移動通信装置 20 に送信する（ステップ S803）。

【0162】

図 21 は、ホームエージェント装置 40a が移動通信装置 20 の送信するファストバインディングアップデートメッセージ 1600 を受信した場合の動作を示す動作フロー図である。

【0163】

IP処理部43が、下位レイヤ処理部41または42を介してファストバインディングアップデートメッセージ1600を受信する(ステップS1101)と、モバイルIP・高速モバイルIP処理部45に転送する。そして、モバイルIP・高速モバイルIP処理部45はファストバインディングアップデートメッセージ1600の代替気付アドレスフィールド1601に記載されたIPアドレス、すなわち移動先アクセスルータ装置100dのIPアドレスに対して、ハンドオーバーニシエートメッセージ1700を送信する(ステップS1102)。以降、標準的な高速モバイルIP手順が実施される。

【0164】

このように、本実施の形態のホームエージェント装置によれば、高速モバイルIPに対応するアクセスルータ装置と対応しないアクセスルータ装置が混在するネットワーク環境において、移動通信装置が移動する際に接続している移動元アクセスルータ装置が高速モバイルIPに対応していない場合でも、ホームエージェント装置が移動元アクセスルータ装置の代理として高速モバイルIP手順を実施することにより、高速モバイルIPと同様にパケットロスをなくすることができる。

【0165】

以上のように、本実施の形態によれば、高速モバイルIPに対応するアクセスルータ装置と対応しないアクセスルータ装置が混在するネットワーク環境において、移動通信装置が移動元アクセスルータ装置と移動先アクセスルータ装置とが高速モバイルIPに対応しているかを判定し、移動元アクセスルータが高速モバイルIPに対応していない場合でも、移動通信装置が移動元アクセスルータ装置の代理としてホームエージェント装置を指定して高速モバイルIP手順を実施するので、パケットロスのないハンドオーバを実現することができると共に、両方のアクセスルータ装置が高速モバイルIPに対応している場合には、高速モバイルIPを相互間で行うので、ハンドオーバ時の転送効率を高めることが可能になる。

【産業上の利用可能性】

【0166】

本発明は、移動通信装置が異なるサブネットワークに移動する際等に有用であり、移動元アクセスルータ装置もしくは移動先アクセスルータ装置が高速モバイルIPに対応していない場合等に適している。

【図面の簡単な説明】

【0167】

【図1】本発明の実施の形態1における移動通信システムの構成を示す図

【図2】本発明の実施の形態1における移動通信装置の構成を示す図

【図3】本発明の実施の形態1におけるホームエージェント装置の構成を示す図

【図4】本発明の実施の形態1におけるバインディングキャッシュのデータ構造を示す図

【図5】本発明の実施の形態1におけるアクセスルータ情報サーバ装置の構成を示す図

【図6】本発明の実施の形態1における移動通信システムの動作を示す第一のシーケンス図

【図7】本発明の実施の形態1における移動通信システムの動作を示す第二のシーケンス図

【図8】本発明の実施の形態1における移動通信装置の第一の動作を示すフロー図

【図9】本発明の実施の形態1における移動通信装置の第二の動作を示すフロー図

【図10】本発明の実施の形態1におけるホームエージェント装置の第一の動作を示すフロー図

【図11】本発明の実施の形態1におけるホームエージェント装置の第二の動作を示すフロー図

【図12】本発明の実施の形態1におけるホームエージェント装置の第三の動作を示すフロー図

すフロー図

【図 13】本発明の実施の形態 1 におけるアクセスルータ情報サーバ装置の動作を示すフロー図

【図 14】(a) 本発明の実施の形態 1 におけるアクセスルータ装置情報リストの第一の構成を示す図 (b) 本発明の実施の形態 1 におけるアクセスルータ装置情報リストの第二の構成を示す図 (c) 本発明の実施の形態 1 におけるアクセスルータ装置情報リストの第三の構成を示す図

【図 15】本発明の実施の形態 2 における移動通信システムの構成を示す図

【図 16】本発明の実施の形態 2 における移動通信システムの動作を示す第一のシーケンス図

【図 17】本発明の実施の形態 2 における移動通信システムの動作を示す第二のシーケンス図

【図 18】本発明の実施の形態 2 におけるホームエージェント装置の第一の構成を示す図

【図 19】本発明の実施の形態 2 におけるホームエージェント装置の第二の構成を示す図

【図 20】本発明の実施の形態 2 におけるホームエージェント装置の第一の動作を示すフロー図

【図 21】本発明の実施の形態 2 におけるホームエージェント装置の第二の動作を示すフロー図

【図 22】本発明の実施の形態 1 におけるルータ広告メッセージのフォーマットを示す図

【図 23】本発明の実施の形態 1 におけるファストバインディングアクノリジメントメッセージのフォーマットを示す図

【図 24】本発明の実施の形態 1 におけるバッファリング要求メッセージのフォーマットを示す図

【図 25】本発明の実施の形態 1 におけるバッファリング応答メッセージのフォーマットを示す図

【図 26】本発明の実施の形態 1 におけるバインディングアップデートメッセージのフォーマットを示す図

【図 27】本発明の実施の形態 1 における代理ルータ要請メッセージのフォーマットを示す図

【図 28】本発明の実施の形態 1 における代理ルータ広告メッセージのフォーマットを示す図

【図 29】本発明の実施の形態 1 におけるファストバインディングアップデートメッセージのフォーマットを示す図

【図 30】本発明の実施の形態 1 における問い合わせメッセージのフォーマットを示す図

【図 31】本発明の実施の形態 1 における応答メッセージのフォーマットを示す図

【図 32】本発明の実施の形態 1 におけるハンドオーバーニシエートメッセージのフォーマットを示す図

【図 33】本発明の実施の形態 1 におけるハンドオーバーアクノリジメントメッセージのフォーマットを示す図

【図 34】従来の移動通信システムの動作を示すシーケンス図

【符号の説明】

【0168】

1 インターネット

10、11 ローカルネットワーク

20 移動通信装置

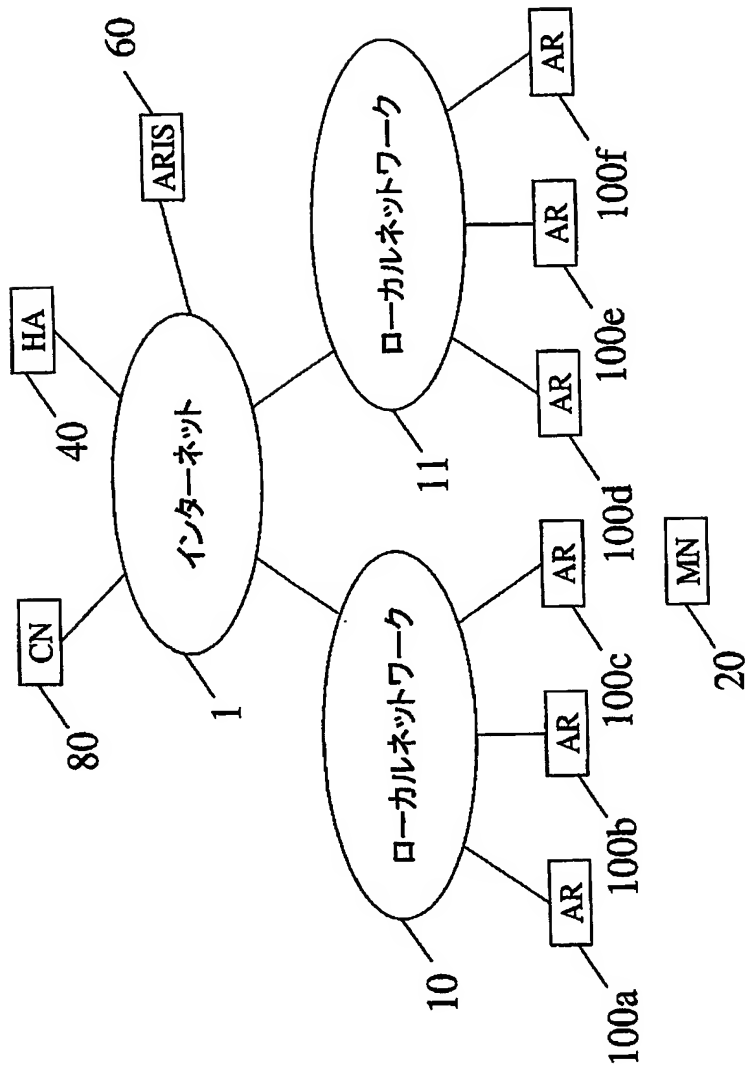
40、40a、40b ホームエージェント装置

THIS PAGE BLANK (USPTO)

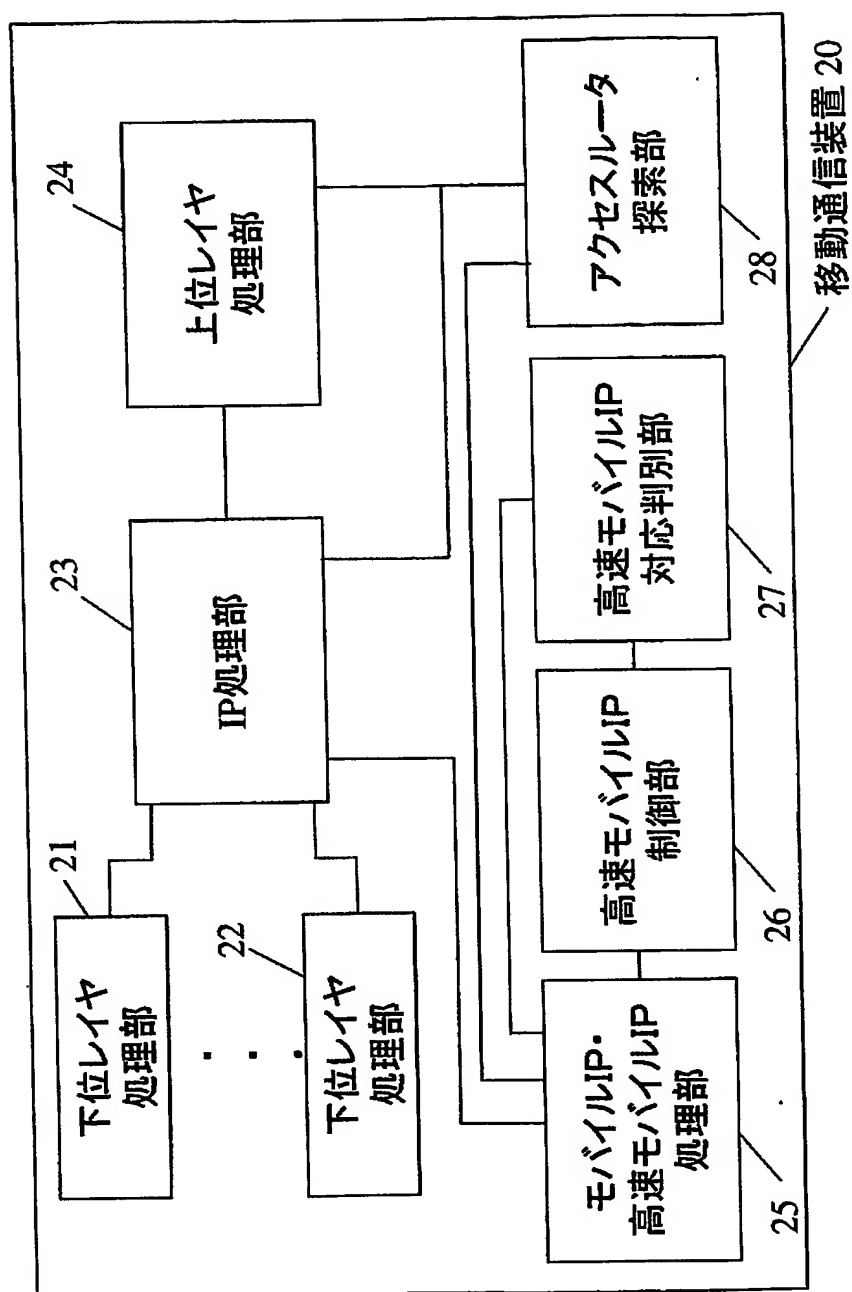
- 6 0 アクセスルータ情報サーバ装置
- 8 0 通信相手端末
- 1 0 0 a ~ 1 0 0 f アクセスルータ装置
- 2 1、2 2 下位レイヤ処理部
- 2 3 I P 処理部
- 2 4 上位レイヤ処理部
- 2 5 モバイル I P ・高速モバイル I P 処理部
- 2 6 高速モバイル I P 制御部
- 2 7 高速モバイル I P 対応判別部
- 2 8 アクセスルータ探索部
- 4 1、4 2 下位レイヤ処理部
- 4 3 I P 処理部
- 4 4 上位レイヤ処理部
- 4 5 モバイル I P ・高速モバイル I P 処理部
- 4 6 バッファ管理部
- 4 7 バッファメモリ
- 4 8 移動先アクセスルータ探索部
- 4 9 アクセスルータ情報探索部
- 5 0 アクセスルータ情報リスト
- 6 1、6 2 下位レイヤ処理部
- 6 3 I P 処理部
- 6 4 上位レイヤ処理部
- 6 5 アクセスルータ情報リスト
- 6 6 アクセスルータ情報探索部
- 6 7 アクセスルータ情報通知部

【書類名】 図面

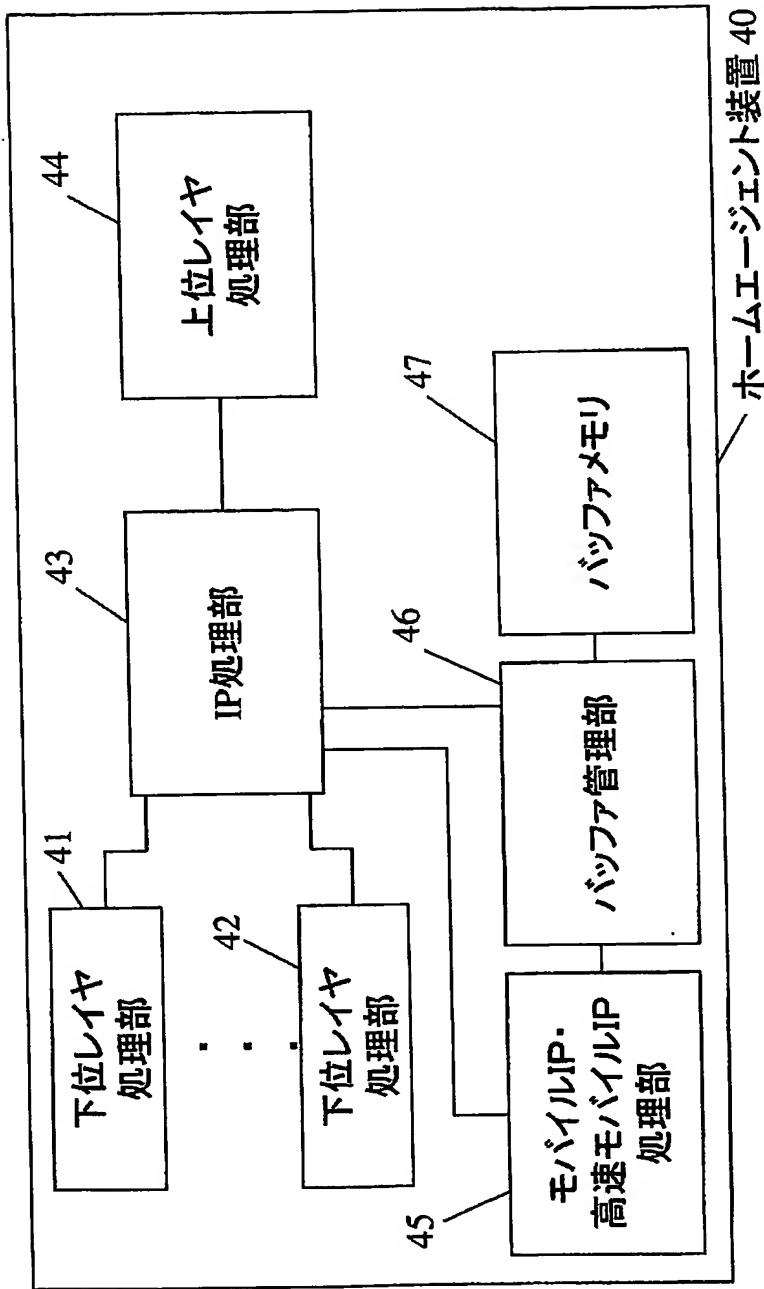
【図 1】



【図 2】



【図 3】

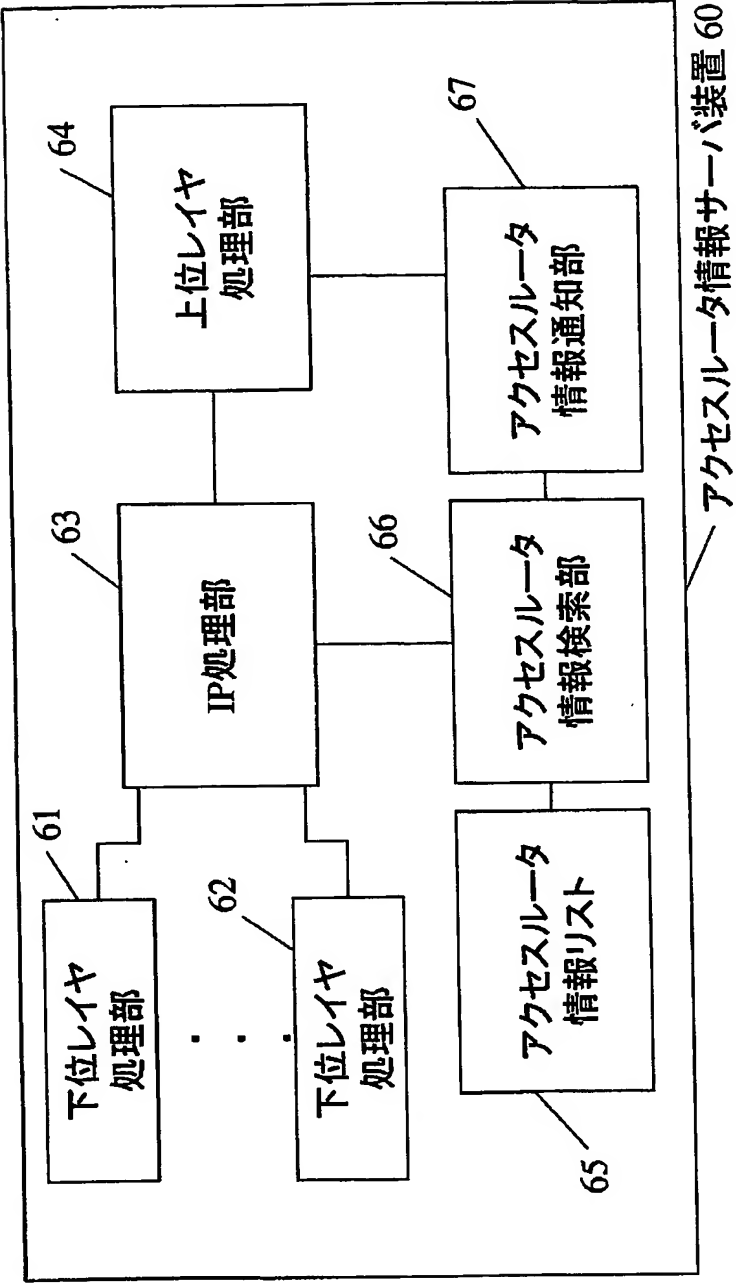


【図 4】

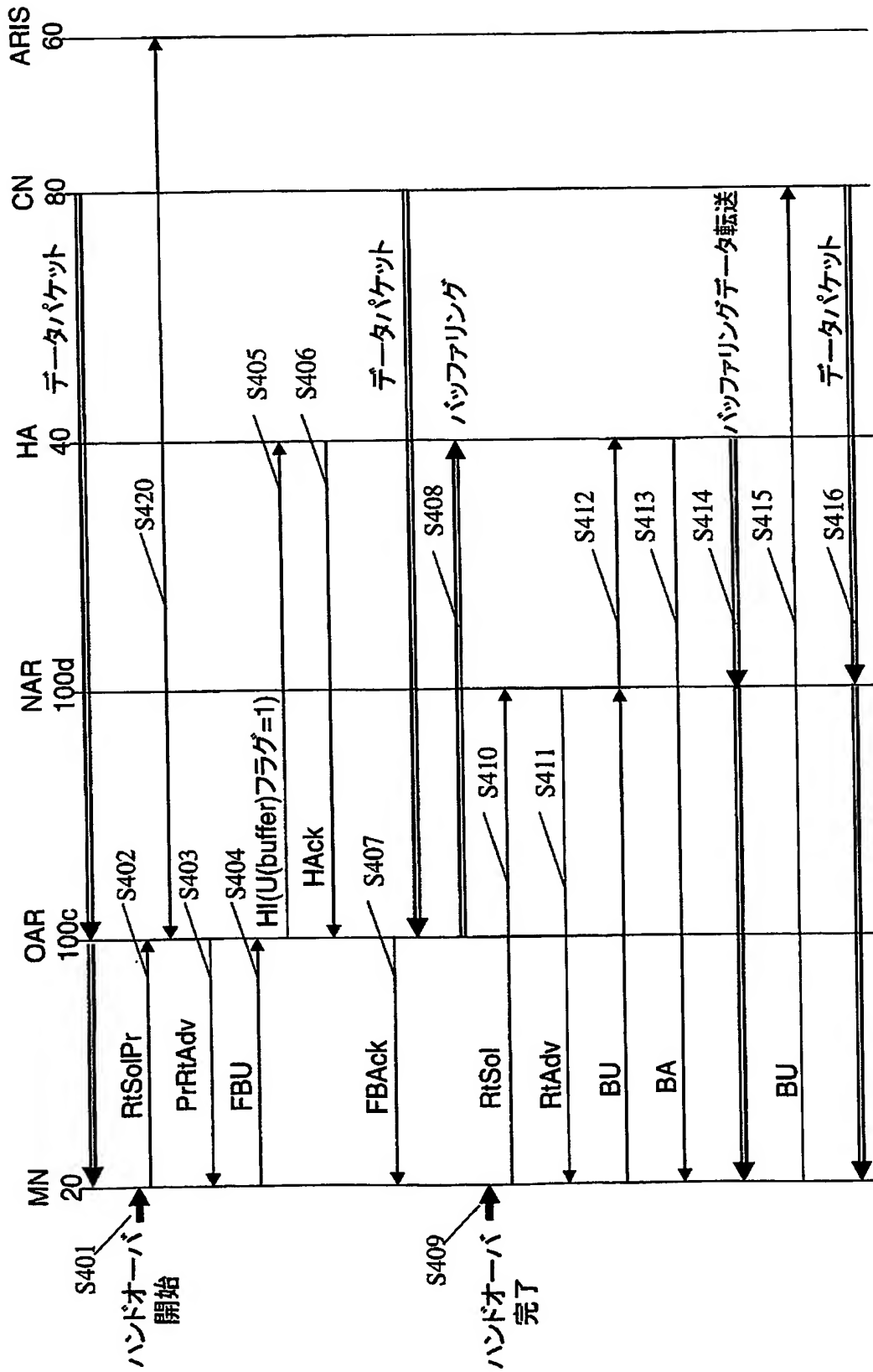
2301 ホームアドレス	2302 宛付アドレス	2303 シーケンス番号	...	2304 Lifetime
1:2:3:4:5:6:7:8	1:2:5:4:a:b:c:d	123	...	10
1:2:3:4:5:6:7:9	1:2:5:4:a:b:c:d	124	...	20
.
.
.
1:2:3:4:5:6:7:e	1:2:5:4:a:b:c:d	130	...	100

バインディングキャッシュ 2300

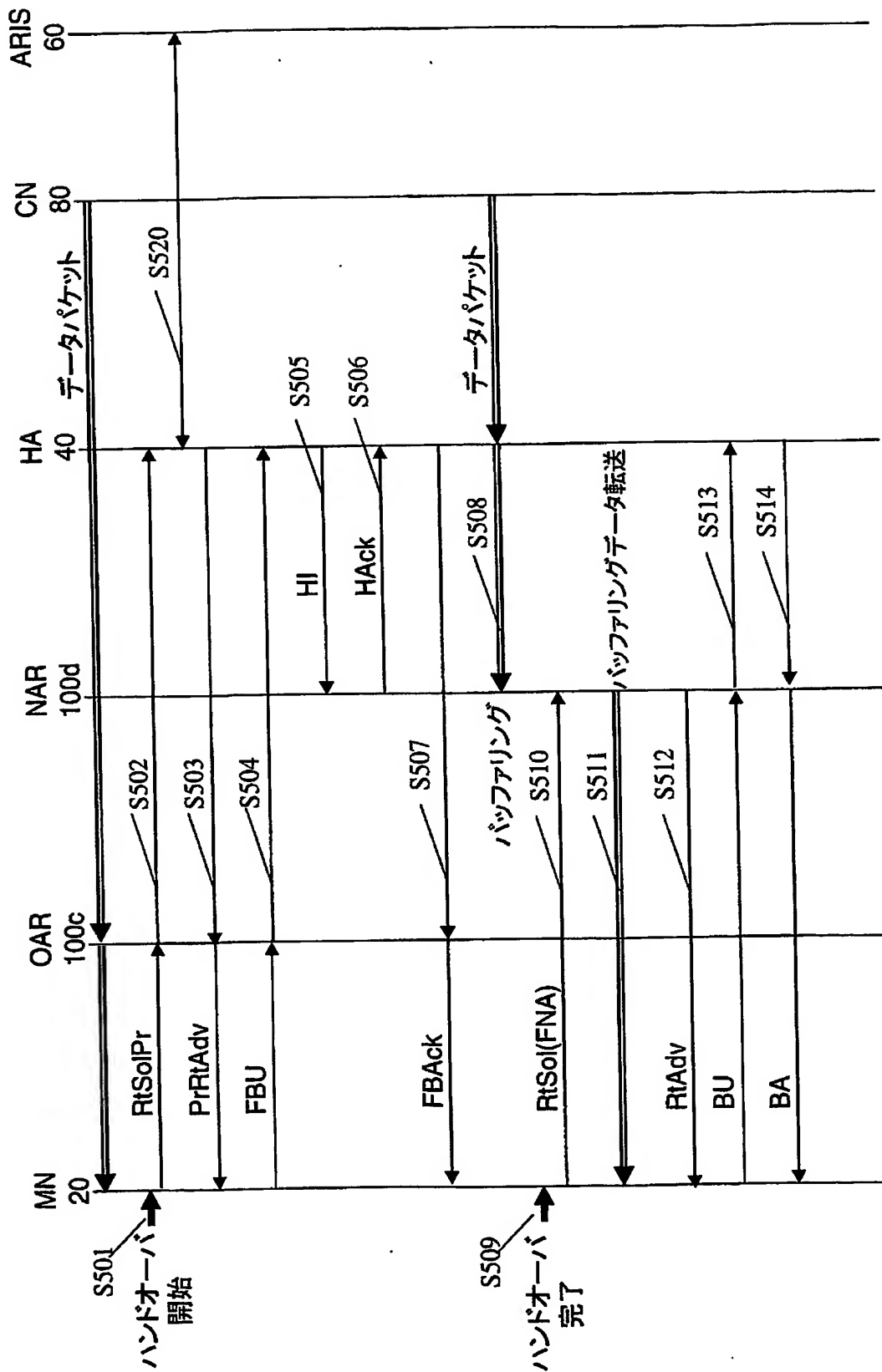
【図 5】



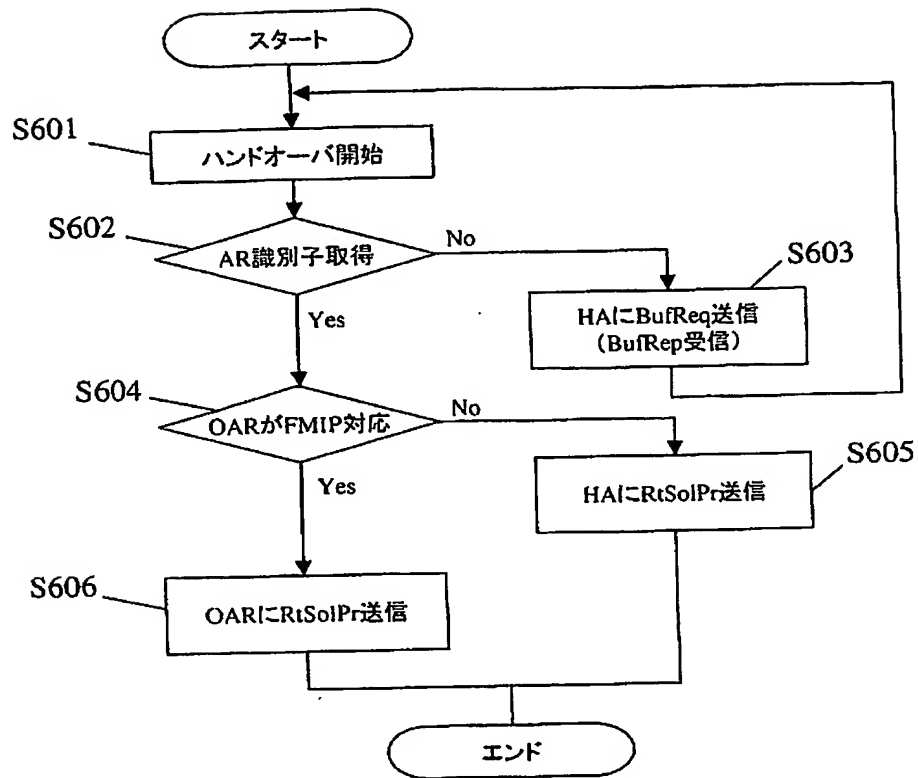
【図 6】



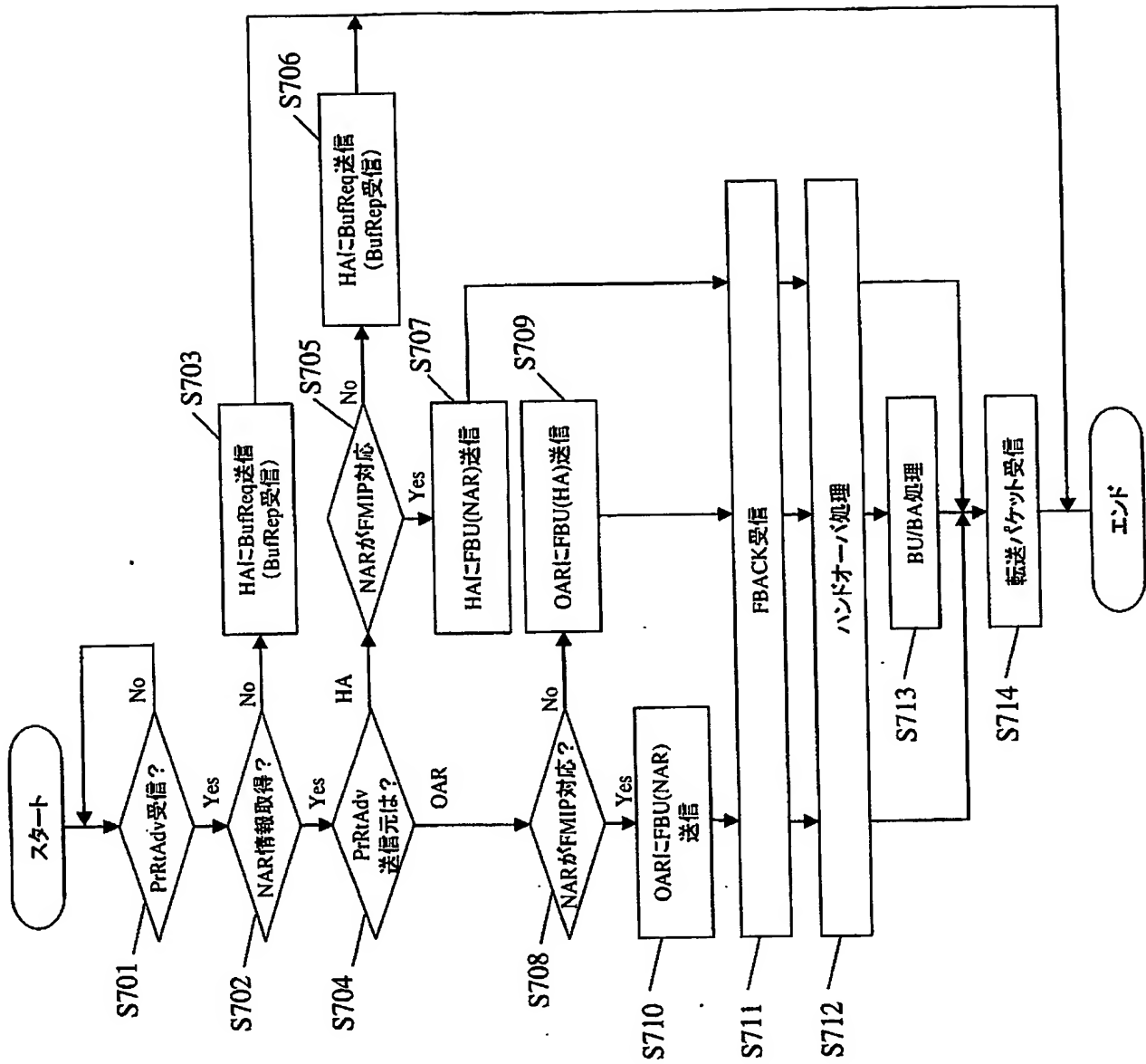
【図 7】



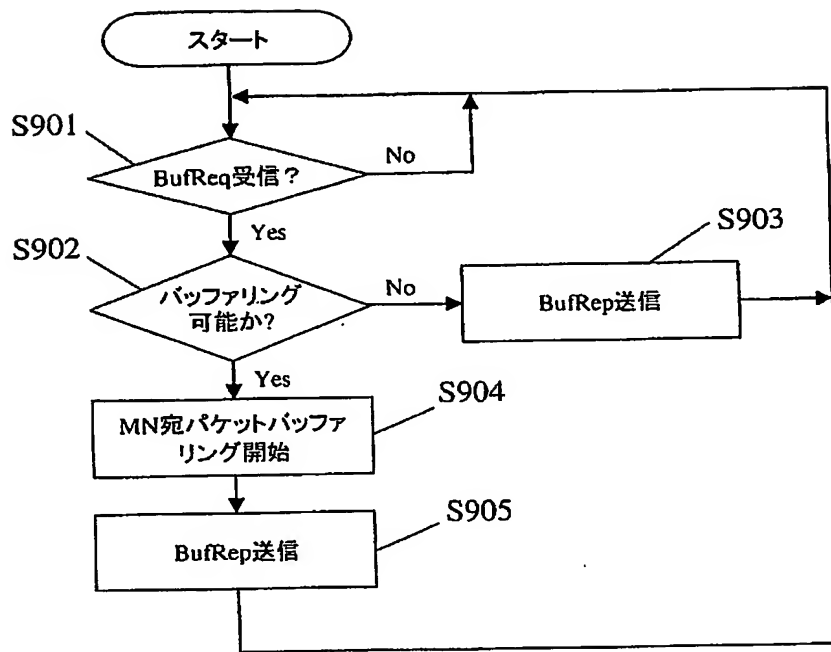
【図 8】



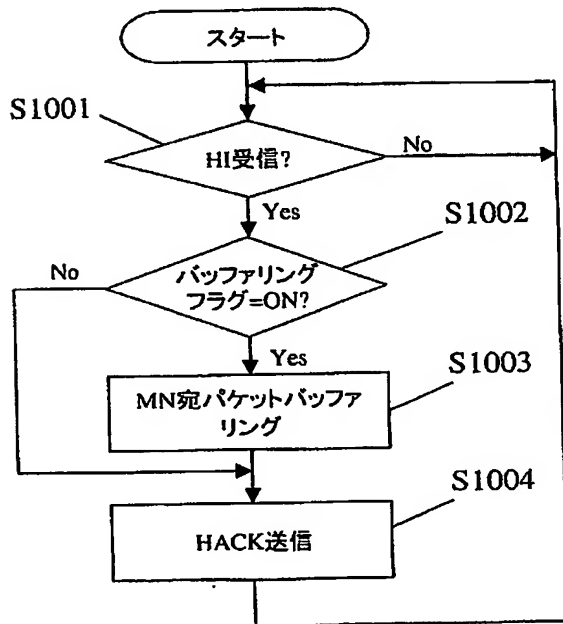
【図 9】



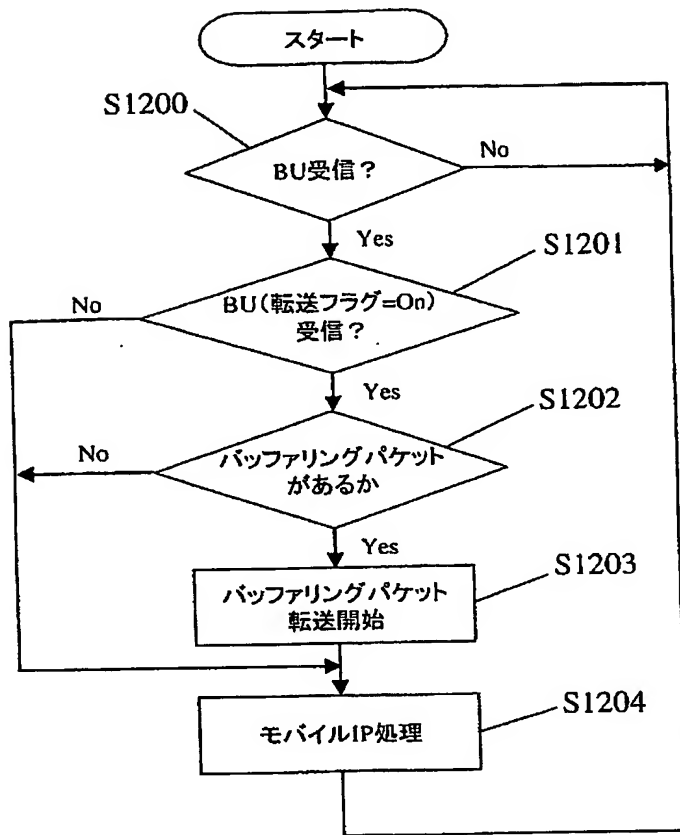
【図 10】



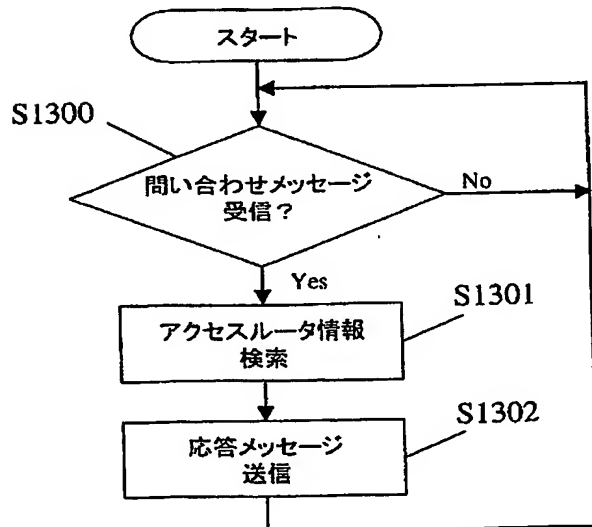
【図 11】



【図 12】



【図 13】



【図 14】

1301		1302		1303	
下位レイヤアドレス		IPアドレス		高速ハンドオーバー対応	
1		1:2:3:4:5:6:7:8		対応	
2		1:2:3:a:b:c:d:e		非対応	
.		.		.	
.		.		.	
.		.		.	

(a)

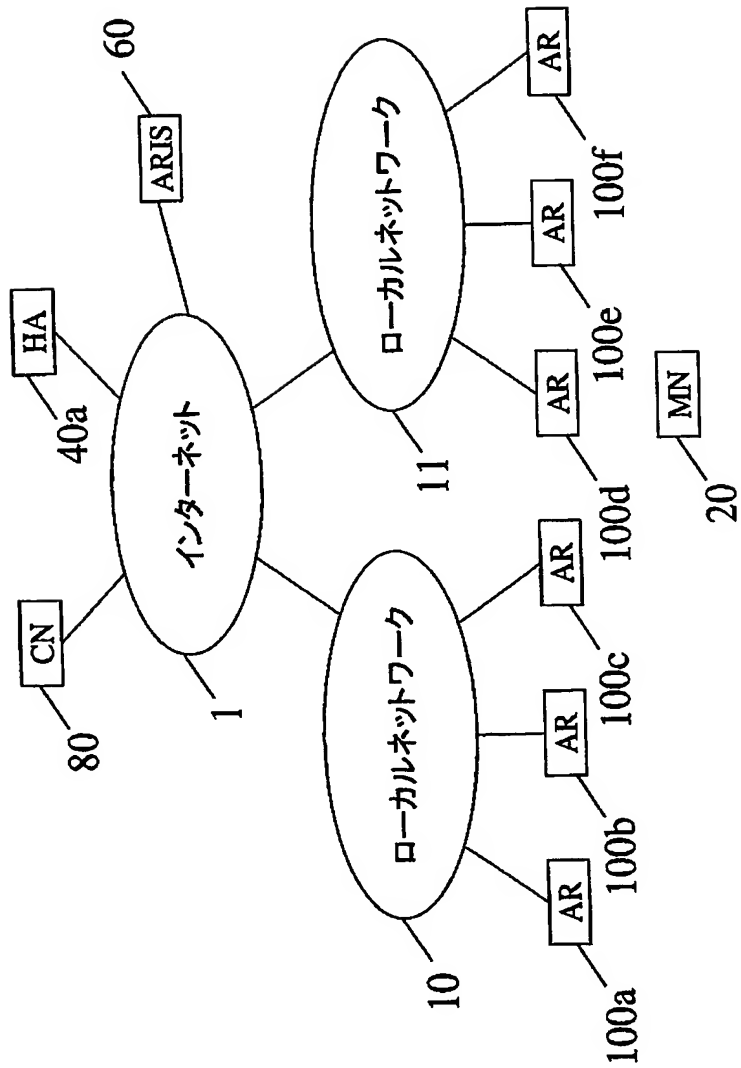
1301		1302		1303		1304	
下位レイヤアドレス		IPアドレス		高速ハンドオーバー対応		優先度	
1		1:2:3:4:5:6:7:8		対応		Low	
2		1:2:3:a:b:c:d:e		非対応		High	
.		.		.		.	
.		.		.		.	
.		.		.		.	

(b)

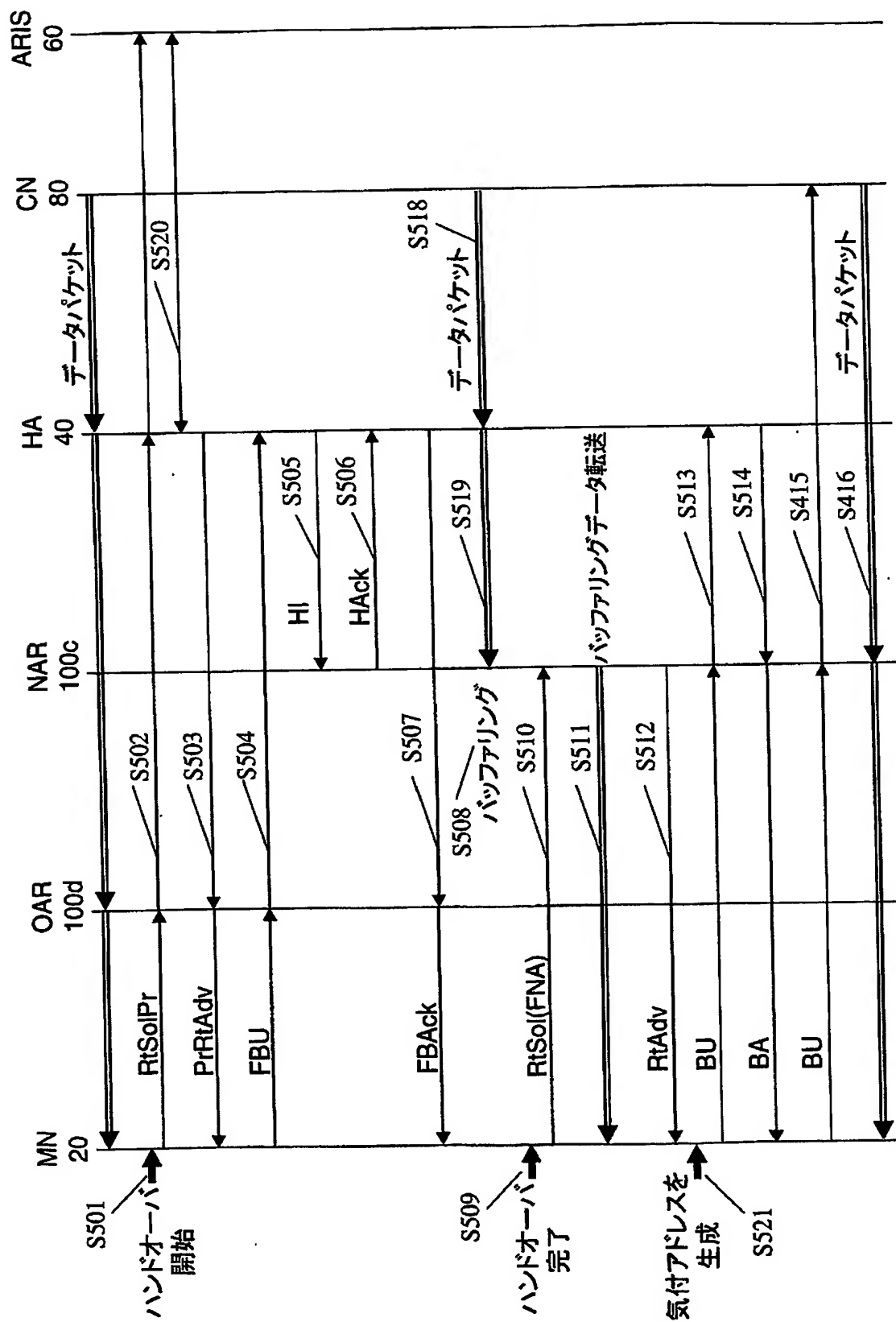
1301		1302		1303		1305	
下位レイヤアドレス		IPアドレス		高速ハンドオーバー対応		伝送レート値	
1		1:2:3:4:5:6:7:8		対応		8Mbps	
2		1:2:3:a:b:c:d:e		非対応		100Mbps	
.		.		.		.	
.		.		.		.	
.		.		.		.	

(c)

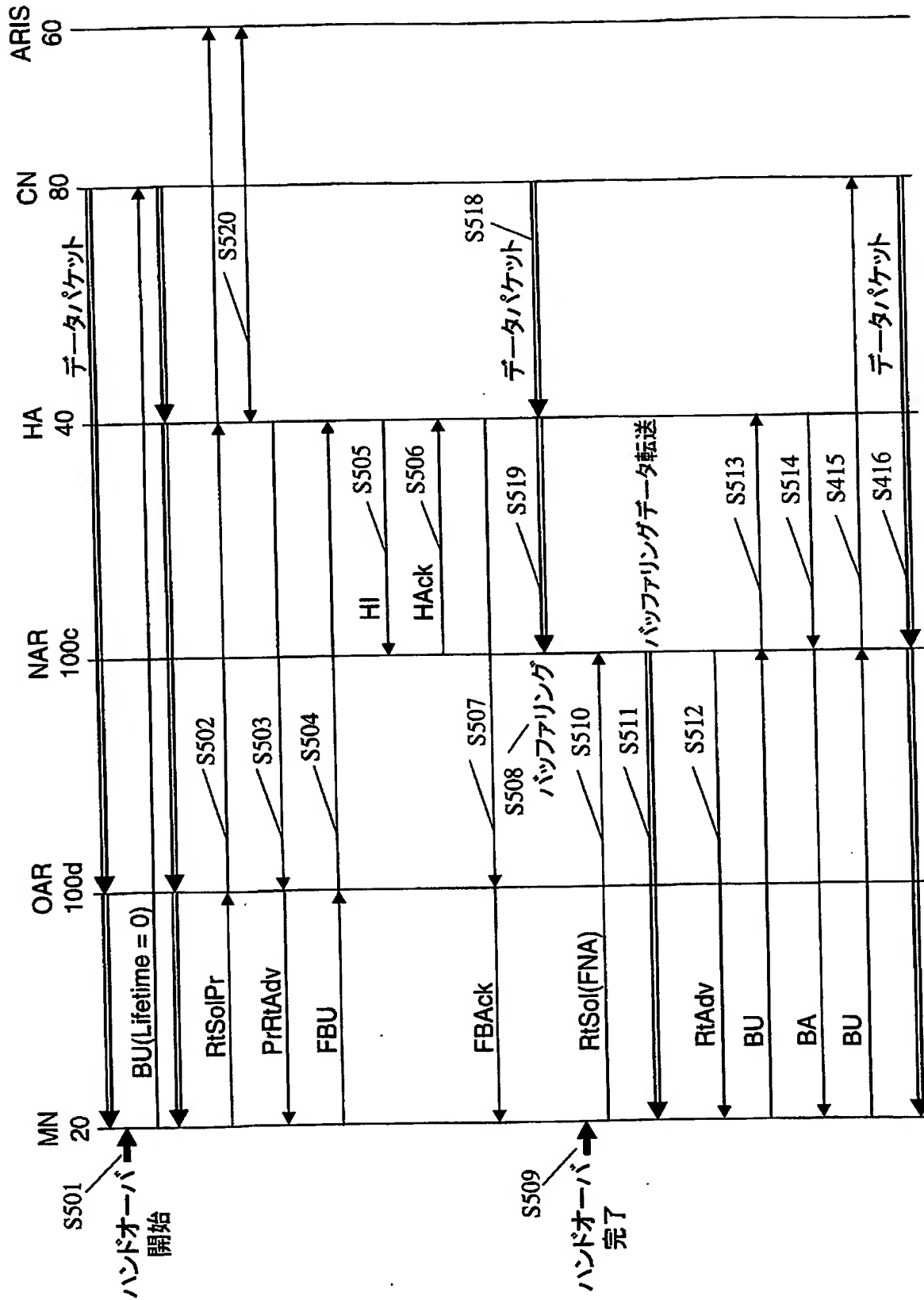
【図 15】



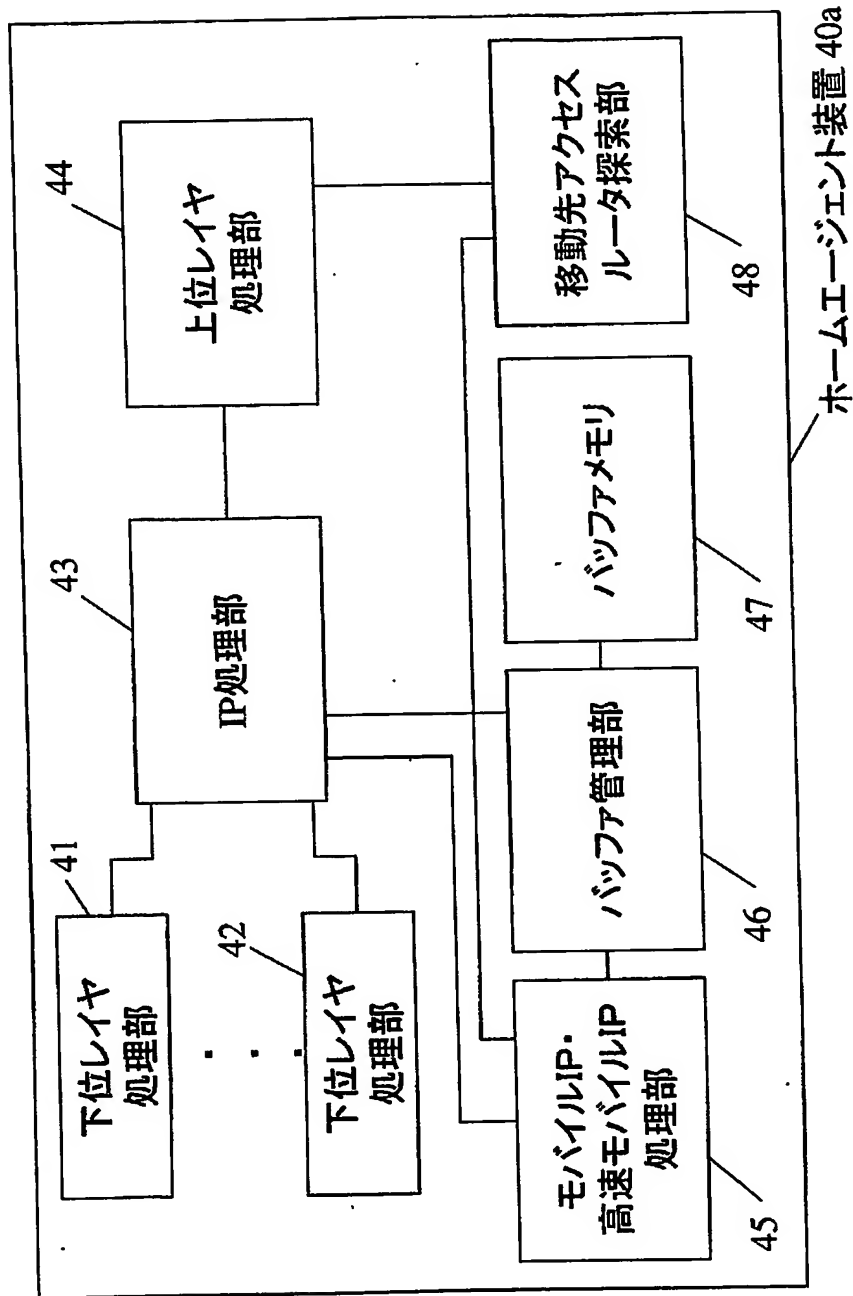
【図 16】



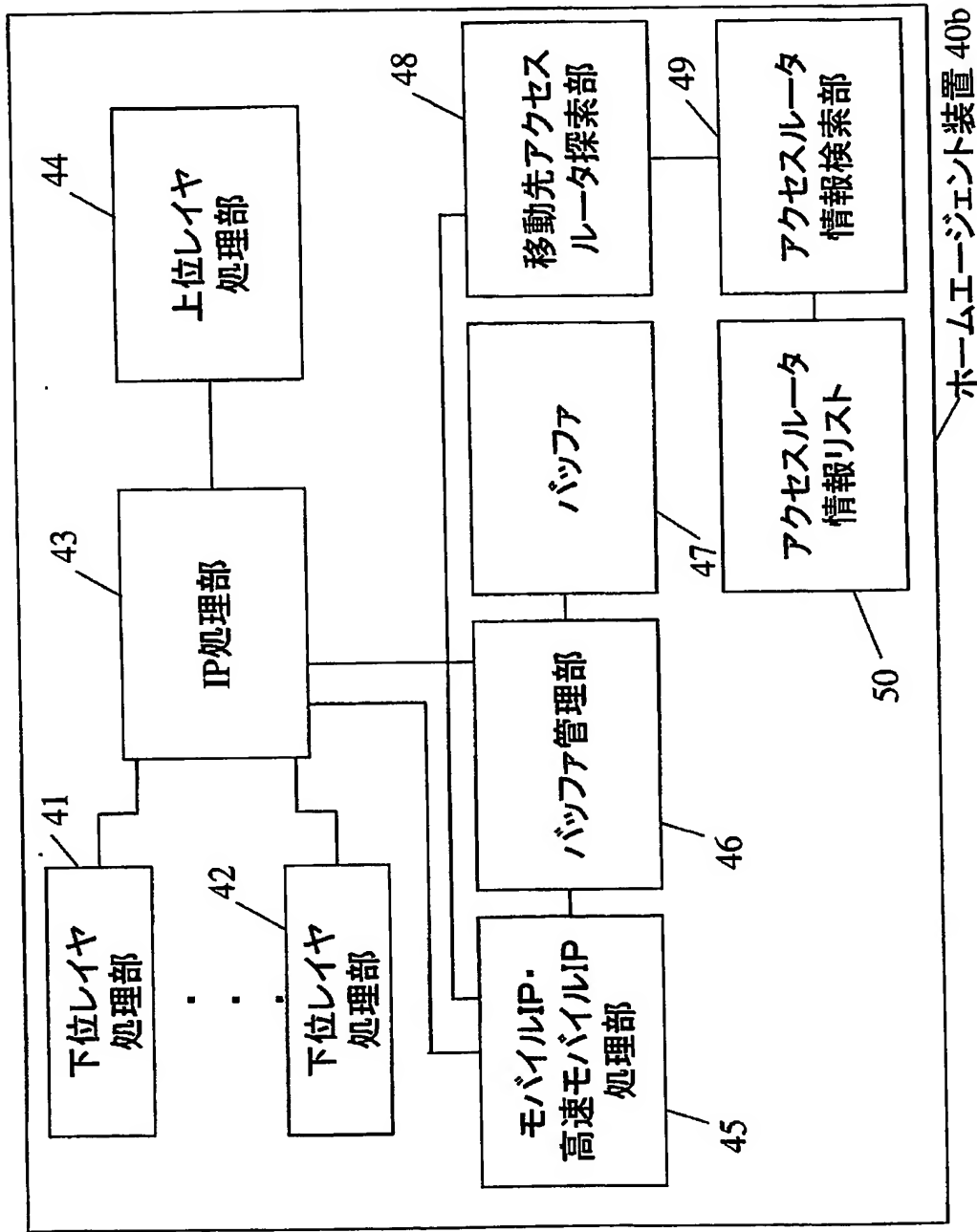
【図 17】



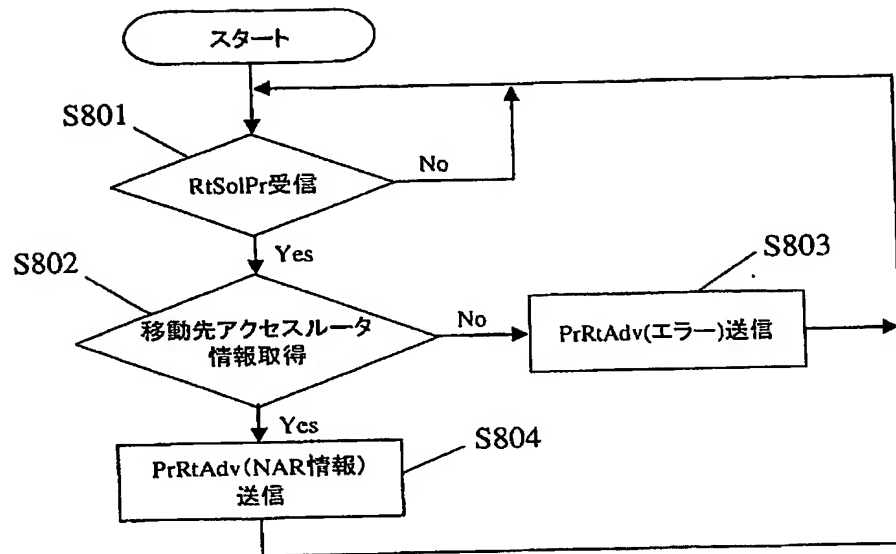
【図 18】



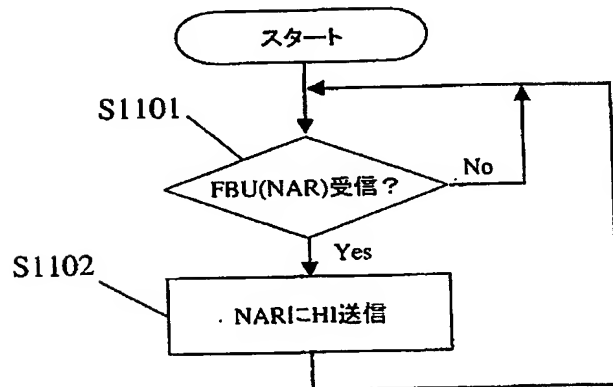
【図 19】



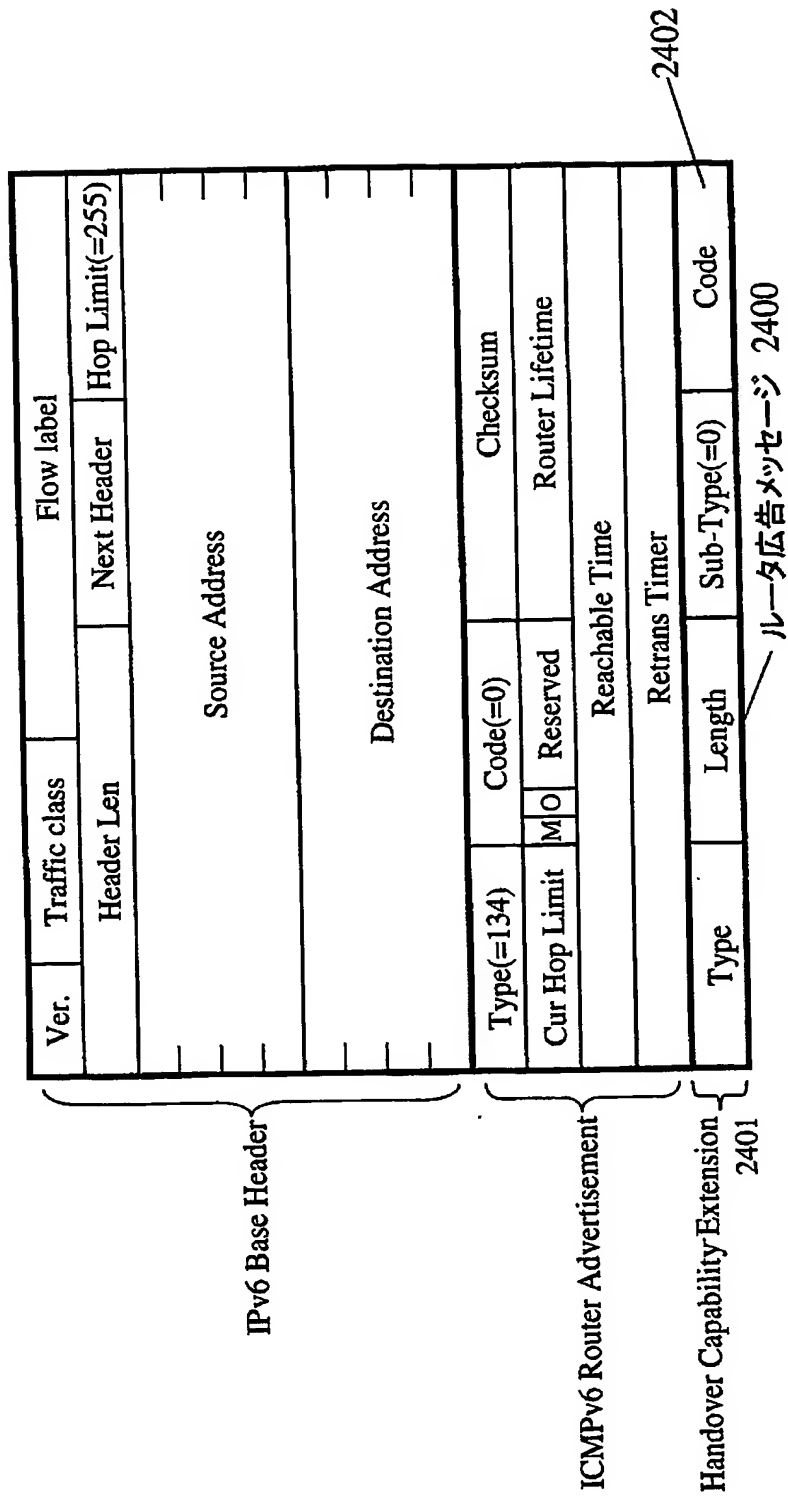
【図 20】



【図 21】



【図 22】



【図 23】

Version	Traffic Class	Flow label	
Payload Length		Next Header	Hop Limit
Source Address			
Destination Address			
Payload Proto	Header Len	MH Type	Reserved
Checksum		Status	Reserved
Sequence #		Lifetime	

ファストバインディングアクリジメントメッセージ 1900

【図 24】

Version	Traffic Class	Flow label	
Payload Length		Next Header	Hop Limit
Source Address			
Destination Address			
Next Header	Hdr Ext Len	Option Type	Option Length
Home Address			
Payload Proto	Header Len	MH Type	Reserved
Checksum		Sequence #	
B	Reserved	Lifetime	

2002

2001

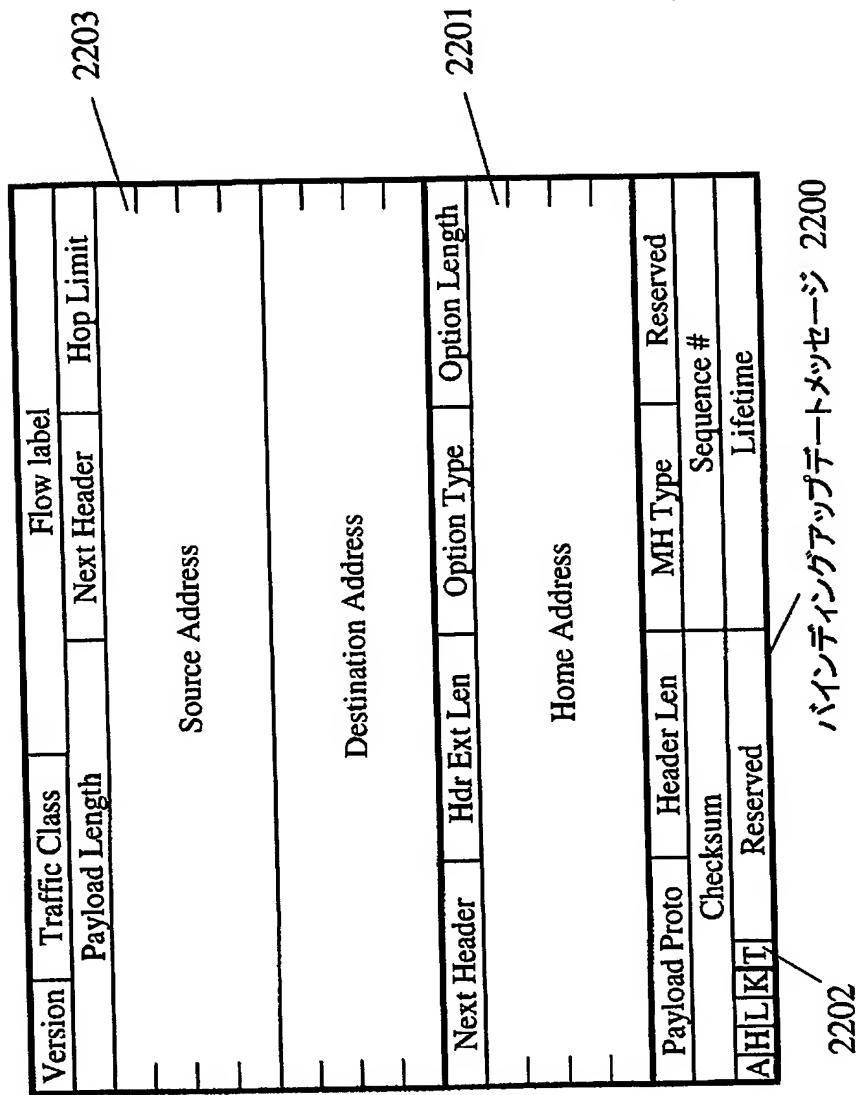
バッファリング要求メッセージ 2000

【図 25】

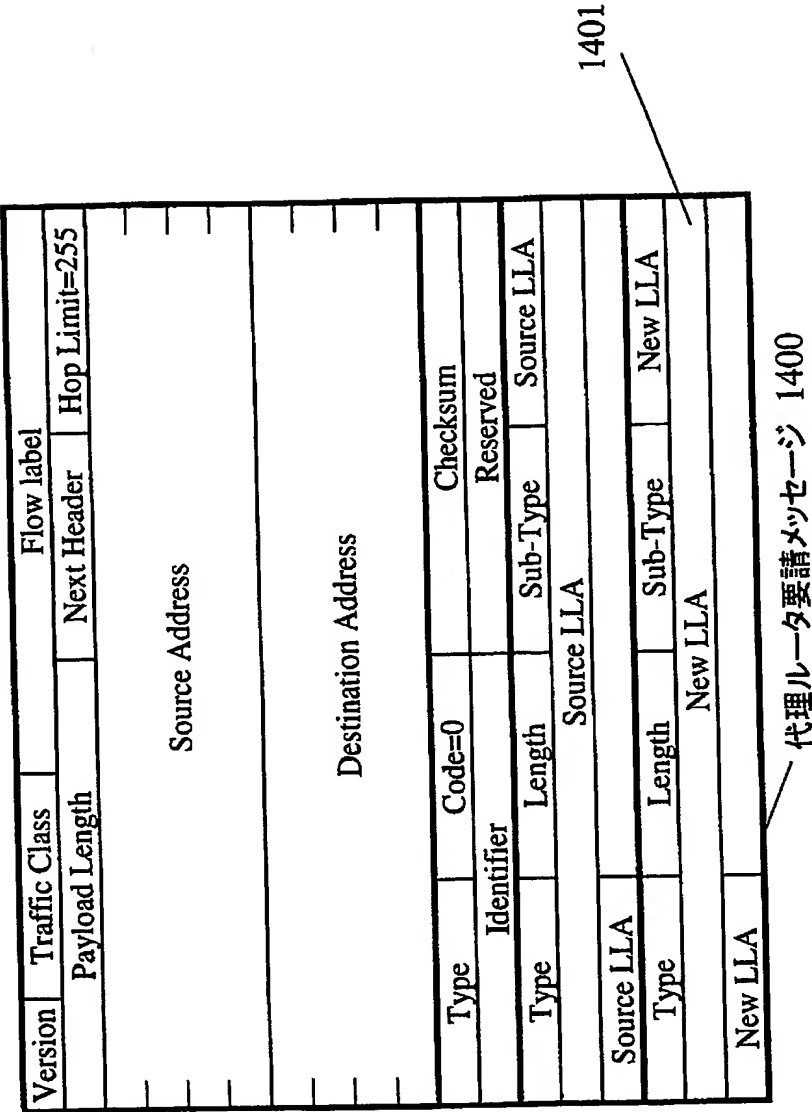
Version	Traffic Class	Flow label	
Payload Length		Next Header	Hop Limit
Source Address			
Destination Address			
Next Header	Hdr Ext Len	Option Type	Option Length
Home Address			
Payload Proto	Header Len	MH Type	Reserved
Checksum	Status		Reserved
Sequence #	Lifetime		

2101 バッファリング応答メッセージ 2100

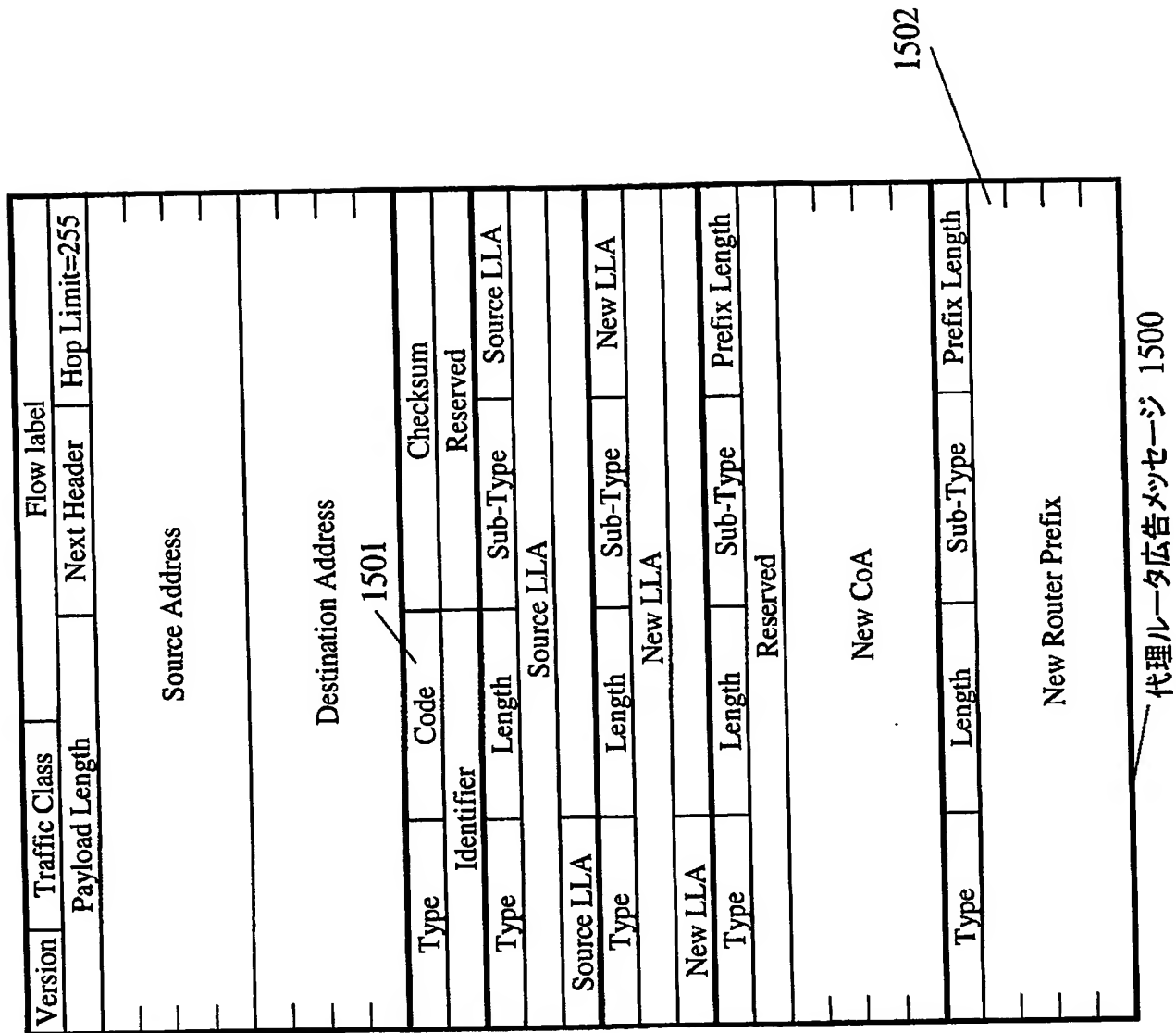
【図 26】



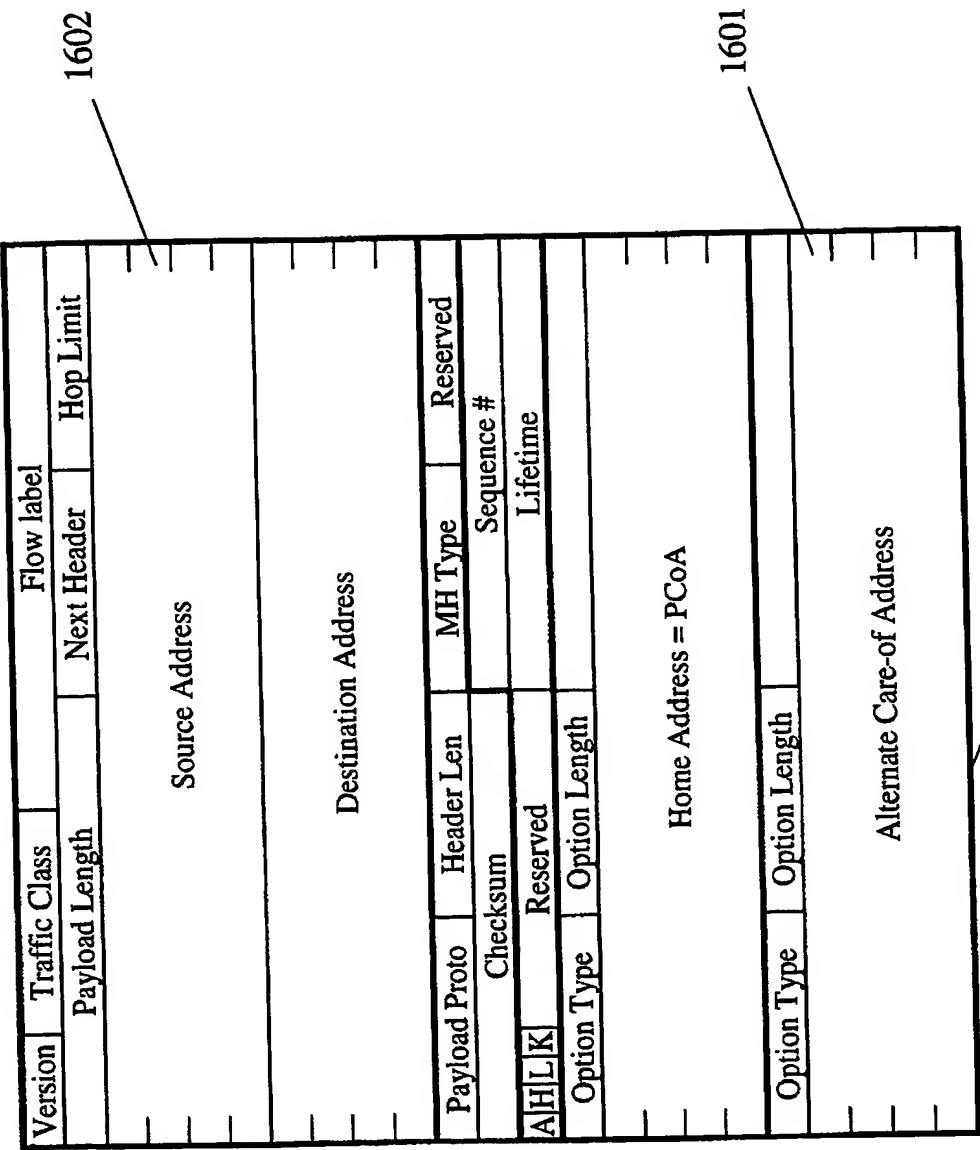
【図 27】



【図 28】

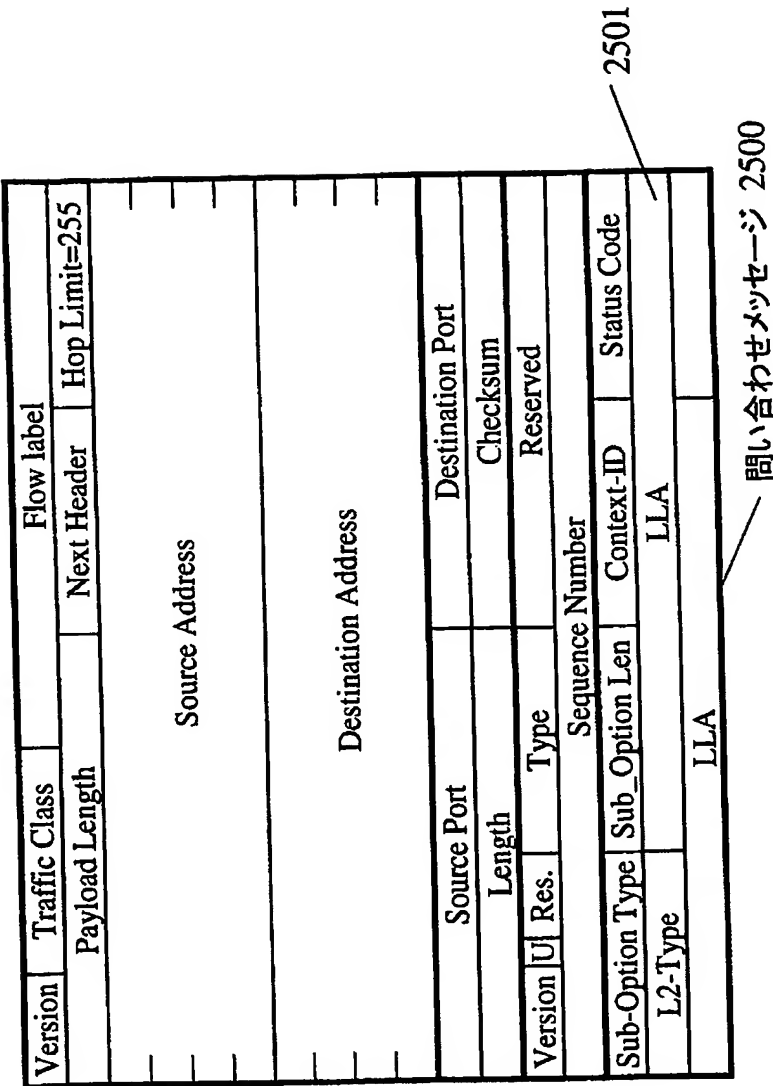


【図 29】

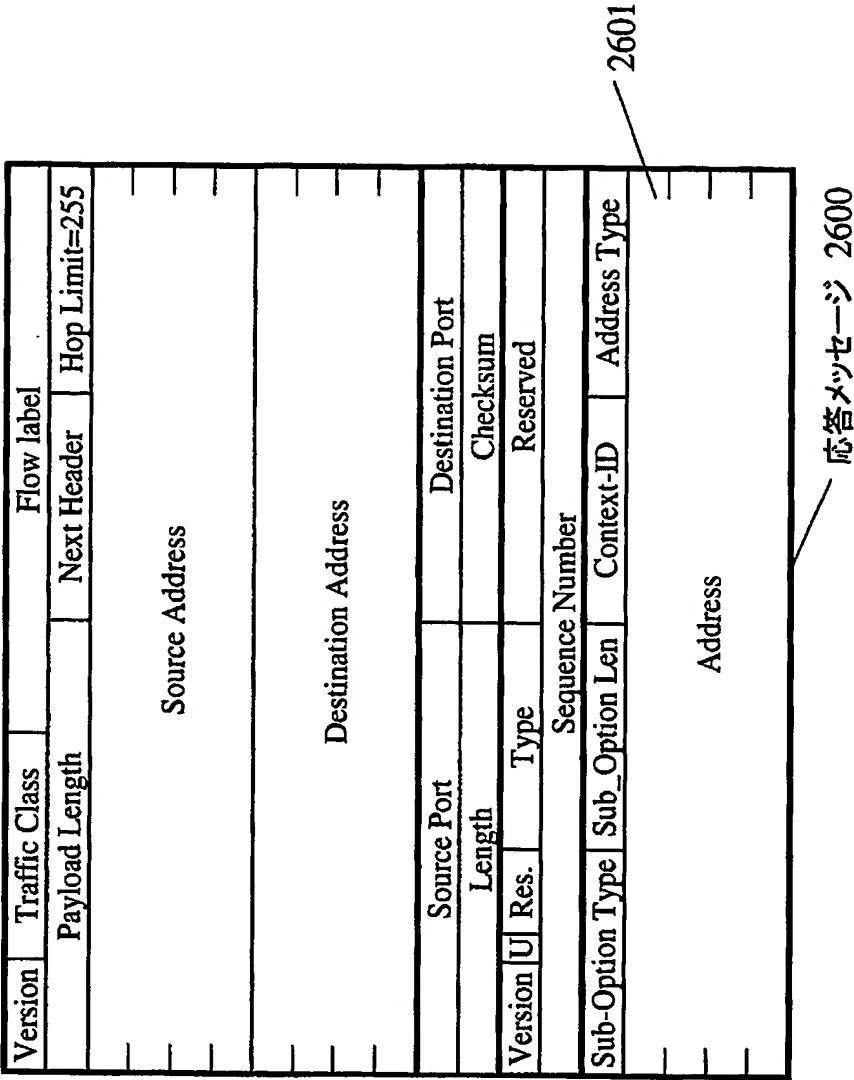


ファストバインディングアップデートメッセージ 1600

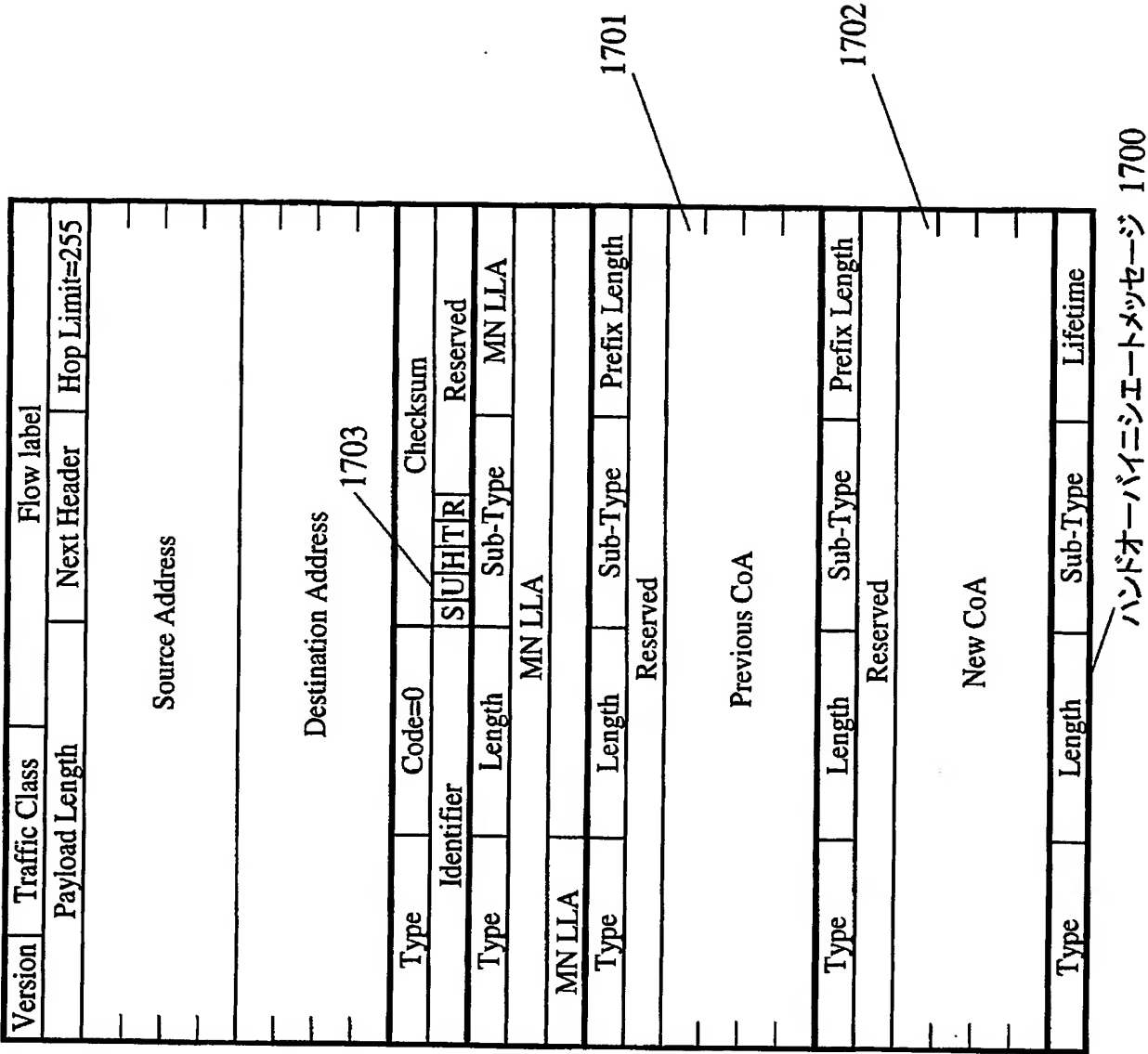
【図 30】



【図 31】



【図 32】



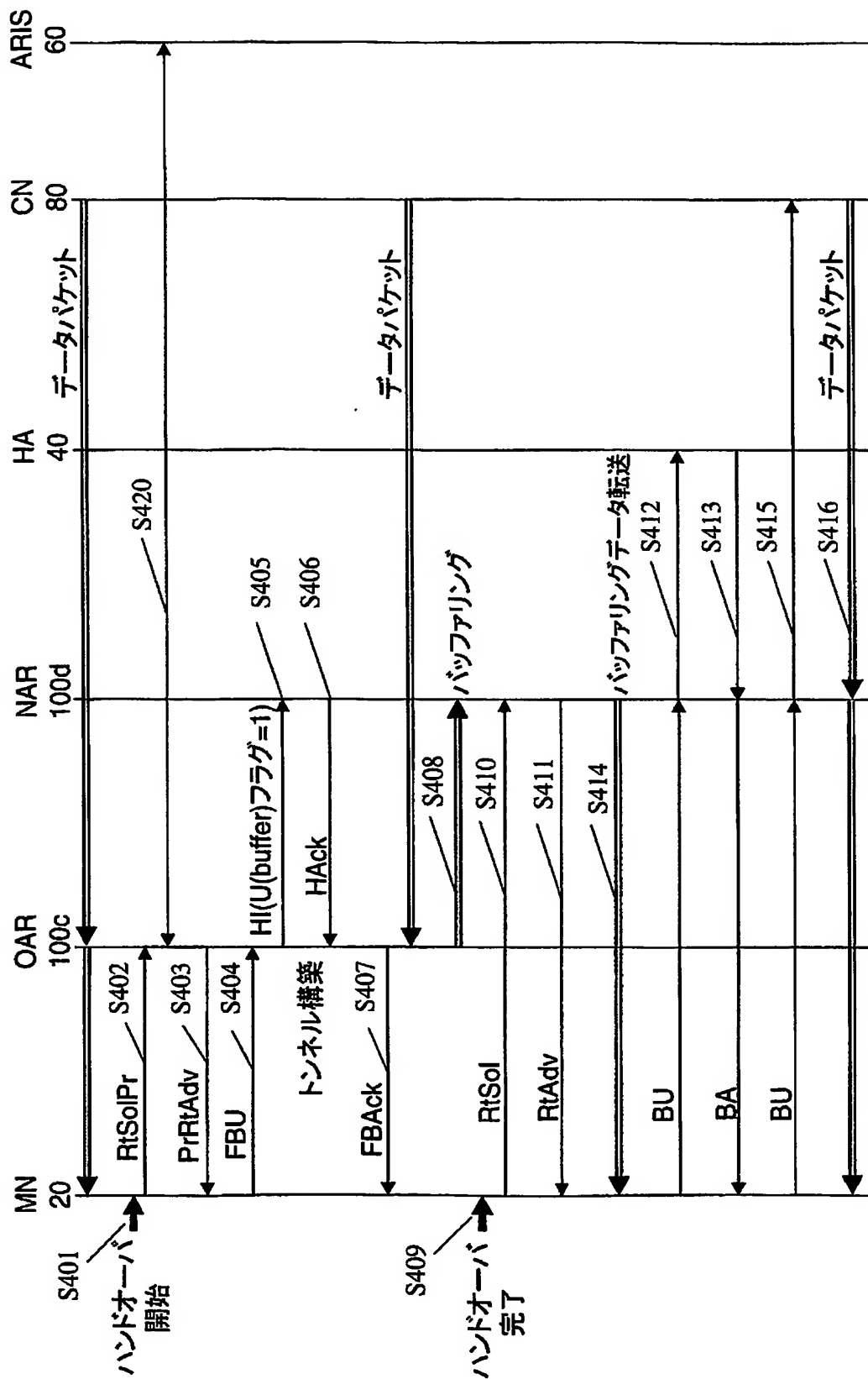
ハンドオーバーバイニシエートメッセージ 1700

【図 3 3】

Version	Traffic Class	Flow label	
Payload Length		Next Header	Hop Limit=255
Source Address			
Destination Address			
Type	Code	Checksum	
Identifier		H/T/R	Reserved
Type	Length	Sub-Type	Prefix Length
Reserved			
New CoA			
Type	Length	Sub-Type	Lifetime

ハンドオーバーバークレジメントメッセージ 1800

【図 34】



【書類名】 要約書**【要約】**

【課題】 アクセスルータ装置が高速モバイル IP に対応していない場合でも、高速モバイル IP を適用することを可能とした移動通信方法を提供する。

【解決手段】 移動通信装置 20 がモバイル IP ・高速モバイル IP 処理部 25 と、アクセスルータ装置に関する情報を取得するアクセスルータ探索部 28 と、アクセスルータ装置が高速モバイル IP に対応しているかを判別する高速モバイル IP 対応判別部 27 と、モバイル IP ・高速モバイル IP 処理部 25 が生成するメッセージの内容を制御する高速モバイル IP 制御部 26 とを具備することにより、アクセスルータのいずれかが高速モバイル IP 対応でない場合でも、高速モバイル IP 手順を実施することができ、パケットロスを削減することが可能になる。

【選択図】 図 2

特願 2 0 0 3 - 3 7 4 1 8 6

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 0 0 5 8 2 1]

1. 変更年月日

1 9 9 0 年 8 月 2 8 日

[変更理由]

新規登録

住 所

大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地

氏 名

松下電器産業株式会社

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER: _____**

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.